

平成29年度

まちづくり町民意識調査報告書



白老町企画課

「こんにちは」からはじめよう。

イランカラapte

irankarapte

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	
(1) 回答者の特性	2
(2) 白老町の好感度	4
(3) 白老町の人口減少について	6
(4) これまでの暮らしに対する評価と今後の重要度	11
「第5次白老町総合計画 基本方針」に対する満足の度合い	11
【生活・環境】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	12
【生活・環境】分野の町民意識度調査	15
【健康・福祉】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	17
【健康・福祉】分野の町民意識度調査	19
【教育・生涯学習】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	21
【産業】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	24
【産業】分野の町民意識度調査	26
【自治】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	29
【自治】分野の町民意識度調査	30
(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて	31
(6) 分野ごとの自由意見	38

■調査の概要

1. 調査目的

この調査は、第5次白老町総合計画に掲げる各施策項目に対する町民の満足度及び今後の重要度、町民意識度、意見要望等を把握し、計画の的確な進行管理を図るとともに、広くまちづくりに関するニーズを把握し、町民の視点に立った行政運営を推進することを目的とする。

また、平成29年度調査においては、平成27年度調査に引き続き、まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る項目を追加し、総合戦略策定における基礎資料とする。

2. 調査期間

平成29年7月12日～平成29年8月4日

3. 調査方法

往復とも郵送による

4. 調査対象

町内在住の満18歳以上の者 1,500人

5. 抽出方法

各地区の人口比率により対象者数を按分し、住民基本台帳から無作為にて抽出

地区 年齢	社台	白老	石山	萩野	北吉原	竹浦	虎杖浜	合計
18～29歳	10	128	9	31	28	22	22	250
30～49歳	13	163	15	44	30	28	27	320
50～64歳	16	157	19	52	37	38	31	350
65歳以上	25	228	41	92	74	69	51	580
合計	64	676	84	219	169	157	131	1,500

6. 回答状況

- ・回答者数 479人（前回調査：527名）
- ・回答率 31.9%（前回調査：26.4%）

※前回調査（平成27年度）は調査対象者 満18歳以上2,000人

(1) 回答者の特性

単位：人

【性別】【年齢】

調査の回答者の傾向として

- 70歳以上の割合が多い
- 女性の割合が若干多い

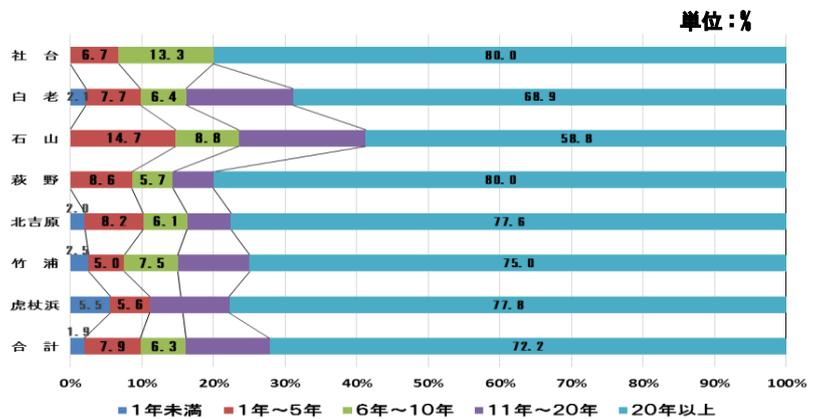
・全回答者 479 名の性別は、男性 47.8%、女性 49.5%（未記入 2.7%）でした。
 ・回答者を年齢別に見てみると、50 歳代・60 歳代が 10% 台、70 歳以上が 30% 台と人口に比例して年齢の高い方からの回答が多くなりました。

区分	男性	女性	未記入	合計	構成比
20 歳未満	3	4	0	7	1.5
20 歳～29 歳	11	15	0	26	5.4
30 歳～39 歳	14	20	0	34	7.1
40 歳～49 歳	17	26	1	44	9.2
50 歳～59 歳	33	30	2	65	13.6
60 歳～64 歳	31	20	3	54	11.3
65 歳～69 歳	36	48	0	84	17.5
70 歳以上	84	74	7	165	34.4
合計	229	237	13	479	
割合	47.8%	49.5%	2.7%		100.0

【白老町での居住年数】【居住地】

- 白老地区の居住者（回答者）が多く、地域によって居住年数に差

・回答者の居住地を見ると、白老地区に居住されている方からの回答が多く、他方、石山地区では、比較的居住年数の浅い方からの回答が多く寄せられました。



	社台	白老	石山	萩野	北吉原	竹浦	虎杖浜	未記入	計
回答数	15	235	34	70	49	40	36	0	479

【職業】

- 回答者の約半数が就労しており、その4割弱は民間正規職員

・回答者の職業の割合では、働いている方が 47.0%、現在働いていない方が 50.1%（未記入 2.9%）

単位：人

区分	民間正規職員	民間非正規職員	公務員	自営業	会社経営	その他	現在働いていない	未記入	合計
20 歳未満	0	0	0	0	0	0	6	1	7
20 歳～29 歳	6	4	3	0	0	2	9	2	26
30 歳～39 歳	8	7	6	2	2	5	3	1	34
40 歳～49 歳	16	3	8	2	3	4	8	0	44
50 歳～59 歳	21	1	6	6	1	15	12	3	65
60 歳～64 歳	6	7	4	2	2	5	26	2	54
65 歳～69 歳	3	13	0	6	0	10	49	3	84
70 歳以上	0	7	1	8	2	18	127	2	165
合計	60	42	28	26	10	59	240	14	479

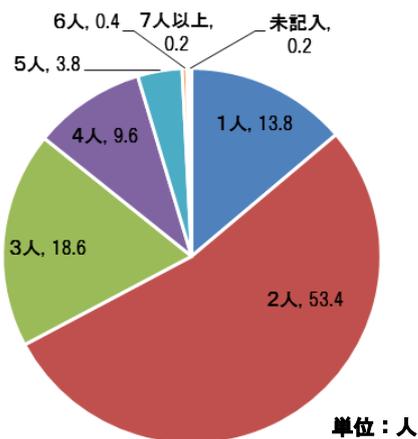
【世帯人数・配偶者の有無・世帯の就労状況】

● 「配偶者有」は72.6%、「配偶者無」26.1%（20歳代46.2% 30歳代39.3%）、「2人世帯」は53.4%、「共働き世帯」は25.3%

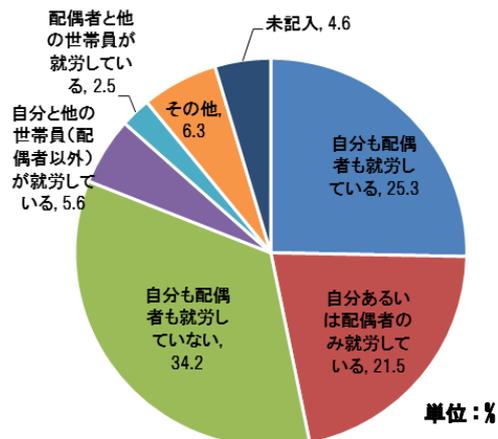
・世帯人数で最も多いのは「2人」で53.4% 次いで「3人」が18.6% 「1人」は13.8%です。
また、配偶者の有無については、配偶者有が72.6% 配偶者無は26.1%となっています。

・世帯の就労状況は、共働きしている世帯は25.3% 本人あるいは配偶者のいずれかが就労している世帯は21.5% 本人も配偶者のいずれも就労していない世帯は34.2%となりました。

【世帯人数】



【世帯の就労状況】



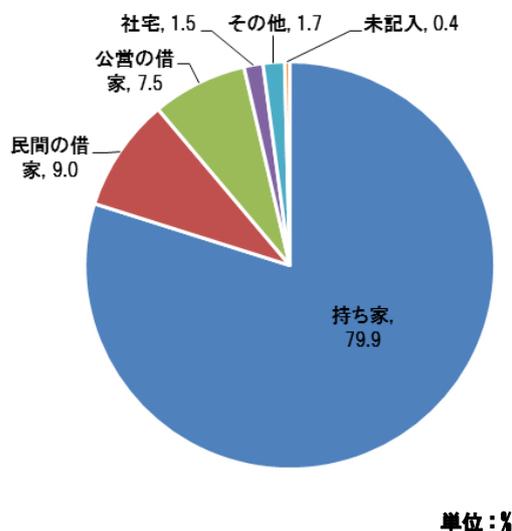
単位：人・%

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
配偶者有	1	12	20	25	53	44	63	130	348 72.6(%)
配偶者無	6	14	13	18	11	10	21	32	125 26.1(%)
未記入	0	0	1	1	1	0	0	3	6 1.3(%)
合計	7	26	34	44	65	54	84	165	479 100.0(%)

【お住まいの住宅種類】

● 「持ち家率」は79.9%

・回答者のうち、「持ち家」にお住まいの方は79.9%、「民間の借家」にお住まいの方は9.0%、「公営の借家」7.5%となりました。



(2) 白老町に対する好感度

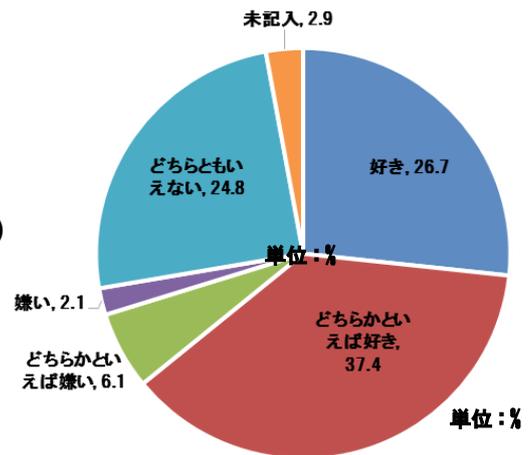
問1 あなたは白老町が好きですか

【全体の傾向】

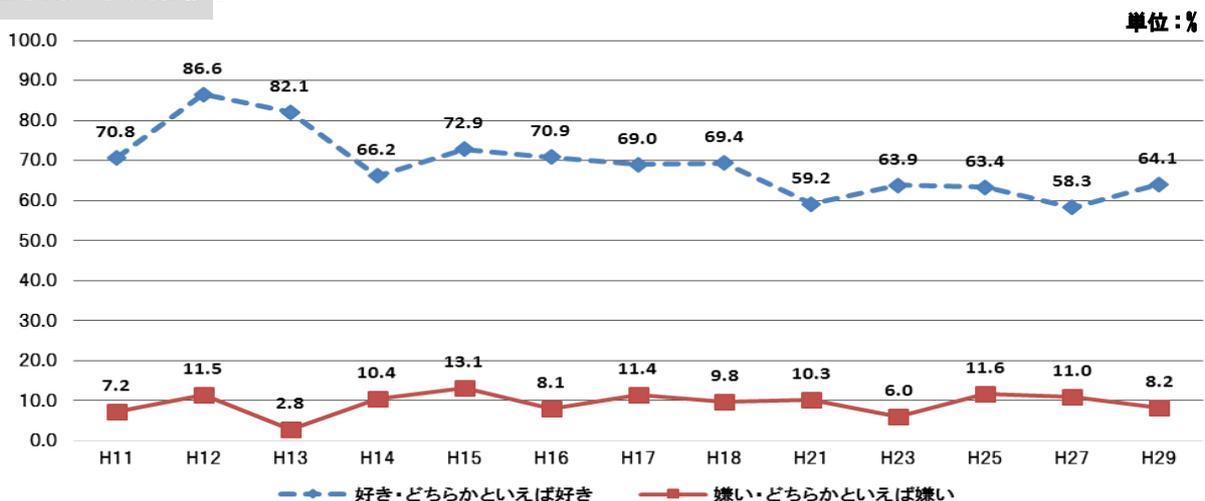
- 「白老町が好き」 64.1% (前回より **5.8ポイント増**)
- 「白老町が嫌い」 8.2% (前回より **2.8ポイント減**)
- 「どちらともいえない」 24.8%
(前回より **0.2ポイント減**)

・「白老町が好き」「どちらかといえば好き」と回答した人の割合は、前回調査より 5.8ポイント増の

64.1%、一方、「白老町が嫌い」「どちらかといえば嫌い」を回答した人の割合は、前回より 2.8ポイント減の 8.2%となりました。



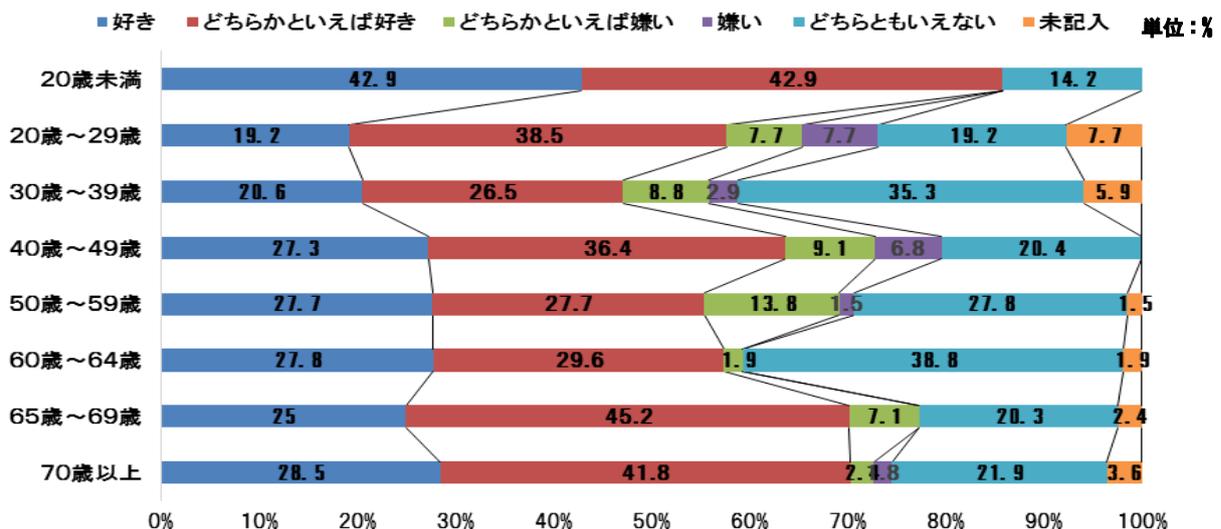
【これまでの推移】



【年齢別での傾向】

- 20歳未満および65歳以上の町民は「白老町が好き」

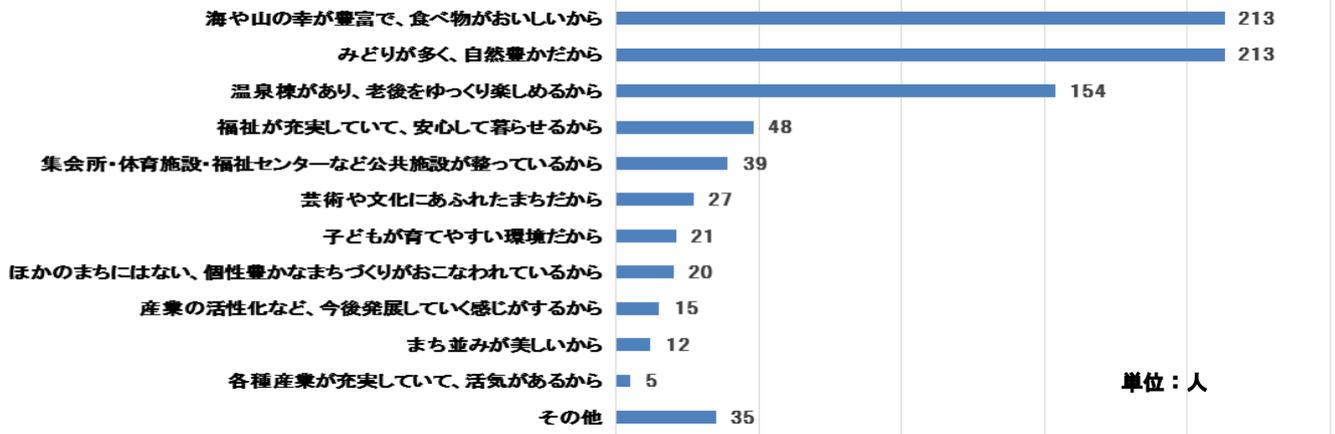
・20歳未満の方では、85.7%の人が「白老町が好き」「どちらかといえば好き」と回答しています。



問 1-2 白老町が「好き」「どちらかといえば好き」と答えた理由は何ですか（複数回答可）。

● 「食べ物がおいしい」「自然豊か」「温泉等があり、老後をゆっくり楽しめる」

- ・白老町が好きな理由として、「海の幸が豊富で、食べ物がおいしいから」「みどりが多く、自然豊かだから」「温泉等があり、老後をゆっくり楽しめるから」の順に多く、前回調査と同じ結果となりました。
- ・なお、性別や年代別、地区別においても全体の傾向と大きな違いは見られませんでした。

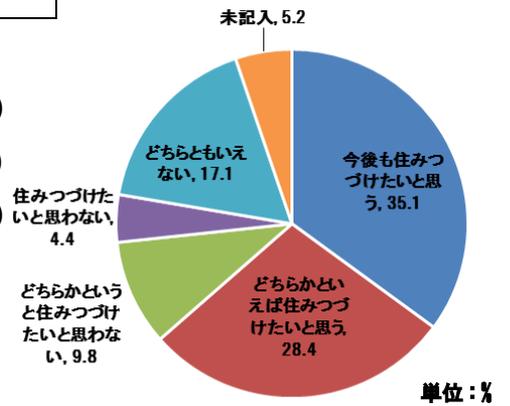


問 2 これから先も白老町に住みつづけたいと思いますか。

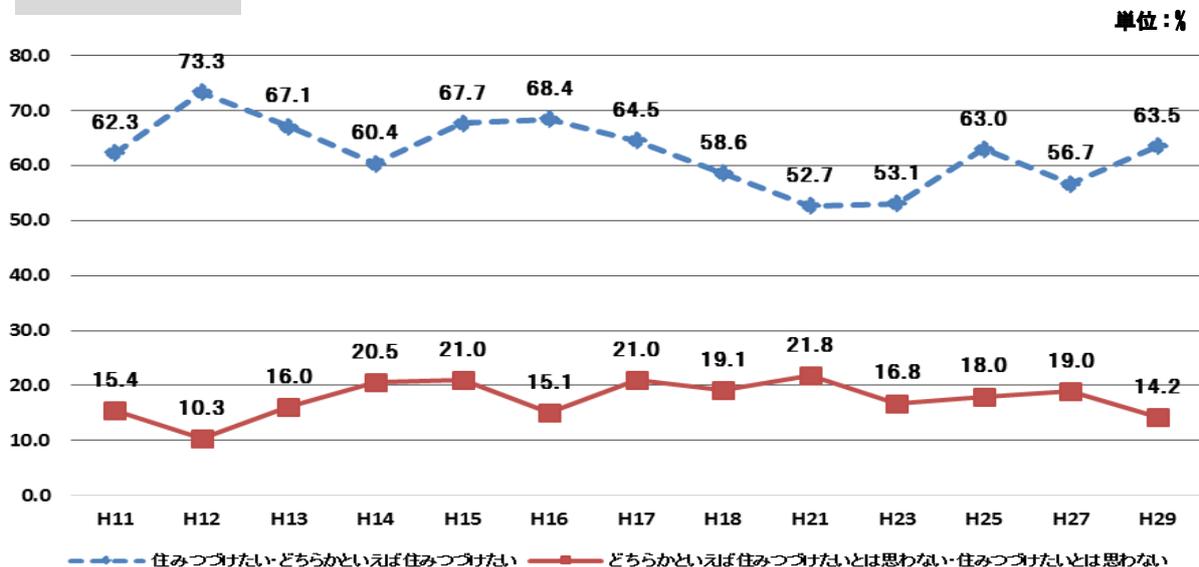
【全体の傾向】

- 「今後も住み続けたい」 63.5%（前回より 6.8 ポイント増）
- 「住み続けたくない」 14.2%（前回より 4.8 ポイント%減）
- 「どちらともいえない」 17.1%（前回より 1.1 ポイント減）

・白老町に「今後も住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人は、前回より 6.8 ポイント増の 63.5%となりました。



【これまでの推移】



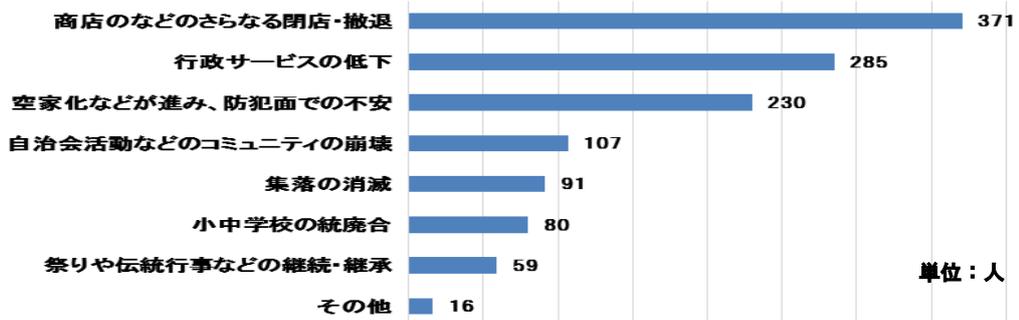
注）平成 14 年度以前の調査では選択項目等が異なるため参考値となります。

(3) 白老町の人口減少について

問3 あなたは、人口減少がさらに進行していった場合、生活、暮らしにどんな不安を感じますか（3つまで複数回答可）。

●「商店の閉店・撤退」「行政サービスの低下」「防犯面の不安」の順

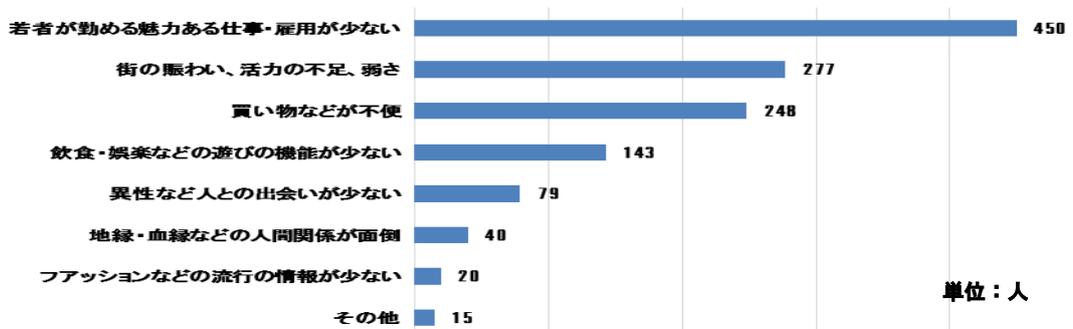
・人口減少により、買物や行政サービスの利便性低下への懸念や治安に対する不安の高まりが上位を占め、「自治会活動などのコミュニティの崩壊」「集落の消滅」など、地域の問題が続きます。



問4 進学によって白老から転出した若者が卒業後に町に戻ってこない理由は何だと思えますか（3つまで複数回答可）。

●雇用面の原因が突出 ●町の賑わい ●買い物不便や出会いの少なさも原因に

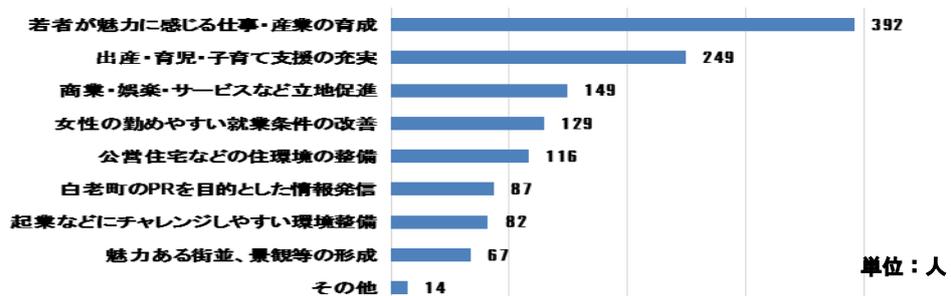
・若者のUターンを阻害する要因としては、雇用の場や機会の少ないことが顕著となっています。その他、まちの賑わいや活力不足、買い物の不便さを指摘する声が多く寄せられています。



問5 子育て世代を白老町に呼び込む（流入）、または流出を抑えるためにはどのような分野に重点を置くべきだと思いますか（3つまで複数回答可）。

●最も望まれているのは「仕事・産業の育成」、次いで「子育て支援の充実」の順

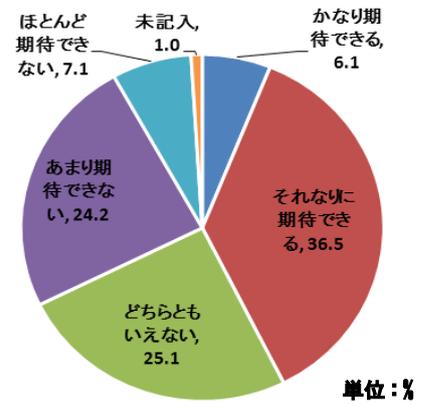
・子育て世代を増加させる対策としては、「魅力ある仕事・産業の育成」が最も高く、次いで「出産・育児・子育て支援の充実」「商業・娯楽・サービスなどの立地支援」の順となっており、雇用環境の充実の必要性がうかがえます。



問6 民族共生象徴空間の整備に伴い、まちの経済的な活性化が期待できますか。

●「経済的な活性化が期待できる」と答えた割合は 42.6%

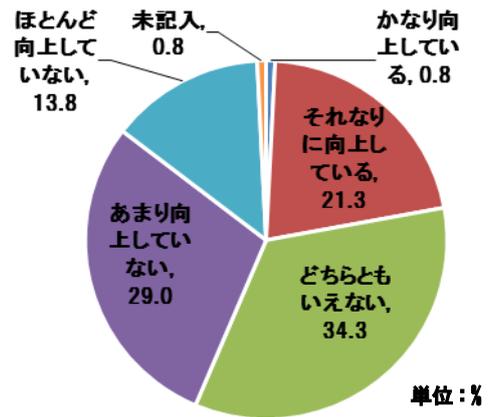
・2020年の民族共生象徴空間の開設により、経済的な波及効果への期待の高まりがうかがえます。



問7 民族共生象徴空間の整備に伴い、まちなみの景観は向上していますか。

●「まちなみの景観は向上している」と答えた割合は 22.1%

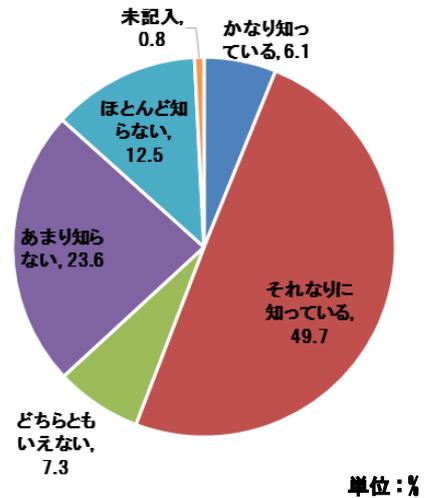
・2020年の民族共生象徴空間開設へ向けて、周辺整備の検討を進めている過程にあり、現段階では、民間によるタペストリーの設置等が行われていますが、一層の景観等向上への取組みが必要であることがうかがえます。



問8 白老町が多文化共生のまちづくりを進めていることを知っていますか。

●知っている割合は 55.8%

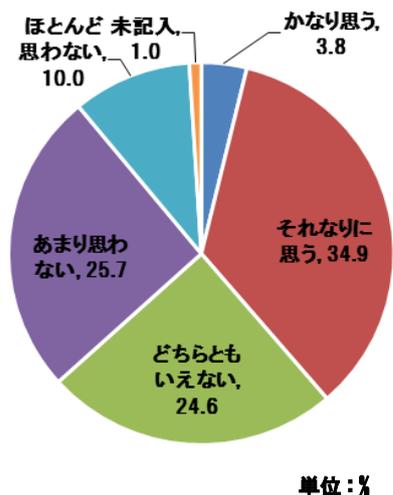
・白老町が多文化共生のまちづくりを推進していることを「知っている」「それなりに知っている」と回答した人は、55.8%となり、徐々に認知度の向上が図られていることがうかがえます。



問9 アイヌ文化や多文化共生への理解が深まり、普及が進んでいると思いますか。

●理解が深まっている、普及が進んでいると思うと感じている割合は 38.7%

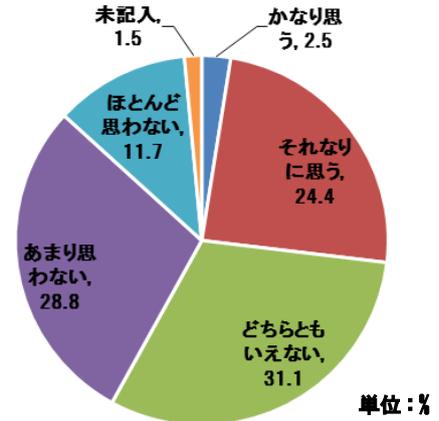
・「かなり思う」「それなりに思う」が38.7%となる一方、「あまり思わない」「ほとんど思わない」も35.7%と拮抗しており、今後一層の理解・普及への取組みの必要性がうかがえます。



問 10 アイヌ文化や多文化共生（外国文化など）に関する教育が推進されていると思いますか。

●推進されていると思うと答えた割合は 26.9%

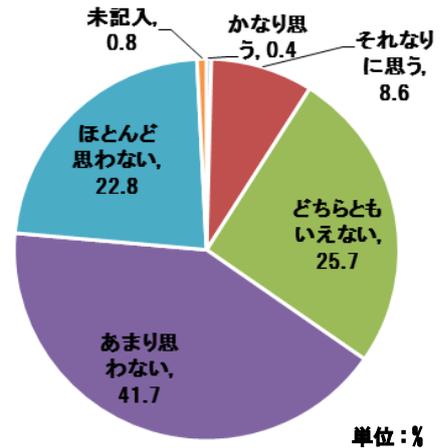
・「あまり思わない」「ほとんど思わない」が 40.5% となっており、「かなり思う」「それなりに思う」の 26.9%を大幅に上回っていることから、アイヌ文化等への理解促進に対する教育の必要性がうかがえます。



問 11 あなたは町の人々がグローバル（世界的な発想で、かつ地域性を持った考え方・生き方）になっていると思いますか。

●「思う」は 9%、一方「思わない」は 64.5%

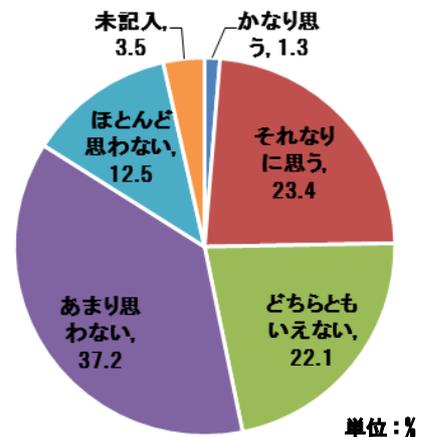
・2020年の民族共生象徴空間の開設に向け、国内外から多くの来訪者が見込まれていることから、グローバル（国際的）・ローカル（地方）の双方の視点をもった人材の育成が必要とされていますが、「あまり思わない」「ほとんど思わない」が 64.5% となっており、今後、一層の取組みが必要な状況となっています。



問 12 町内の案内表示が来訪者にとってわかりやすいものになっていると思いますか。

●思うと答えた割合は 24.7%

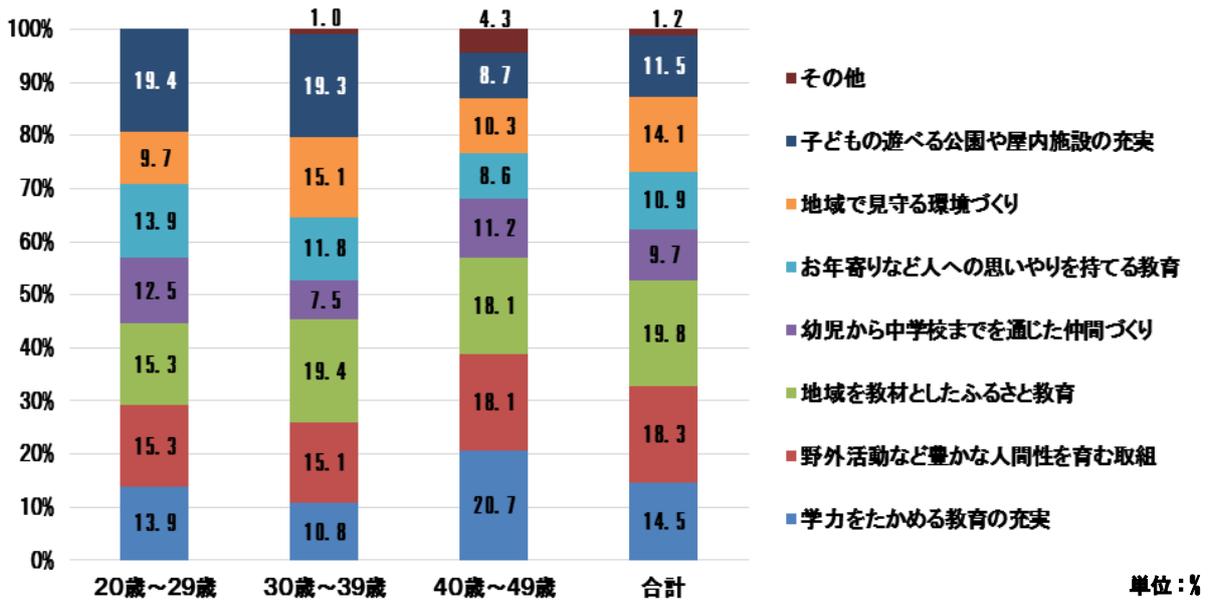
・前項の設問とともに、多くの来訪者にわかりやすい案内表示等の必要性が高まっていますが、現時点では、公共サイン等をはじめ、各飲食店のメニューなどへの多言語化等の必要性が高いことがうかがえます。



問 13 将来の地域を担う人材を確保するためには、ふるさとを慕う子ども育成が重要です。そのためには、どのような分野に重点を置くべきだと思いますか（3つまで複数回答可）。

●全体として「学力」「人間性」「ふるさと教育」を重視する回答が多い

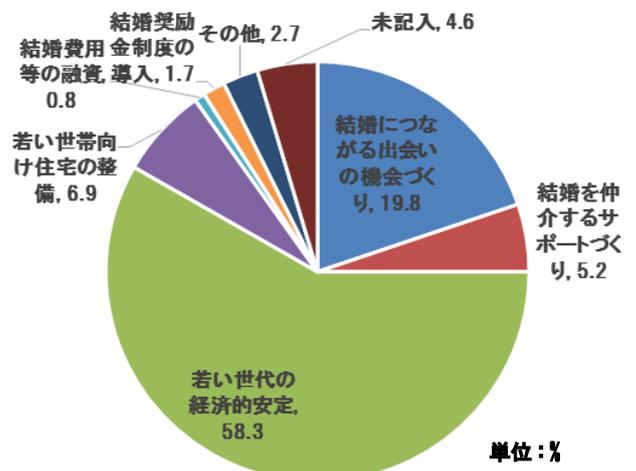
・全年代を通じて、「地域を教材としたふるさと教育」の重要性を指摘する回答が多くなっています。
 ・また、20代～30代では、「子どもの遊べる公園や屋内施設の充実」への回答が多く、子育て世代が幼児や児童等の遊べる環境の充実を求めていること、また40代では、「学力をたかめる教育の充実」を重要視しており、受験生を抱える保護者等の存在がうかがえます。



問 14 結婚希望をかなえるために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

●「若い世代の経済的安定」が58.3%と突出

・近年の少子高齢化や人口減少の要因として晩婚や未婚についてが指摘されていますが、結婚願望をかなえるためには、「若い世代の経済的安定」への取組みが最も重要との結果となり、ここでも雇用環境の充実、対策の必要性がうかがえます。
 ・一方、「結婚につながる出会いの機会づくり」（19.8%）「結婚を仲介するサポートづくり」（5.2%）など、結婚に向けての外的なサポート体制の必要性の高まりもうかがえます。

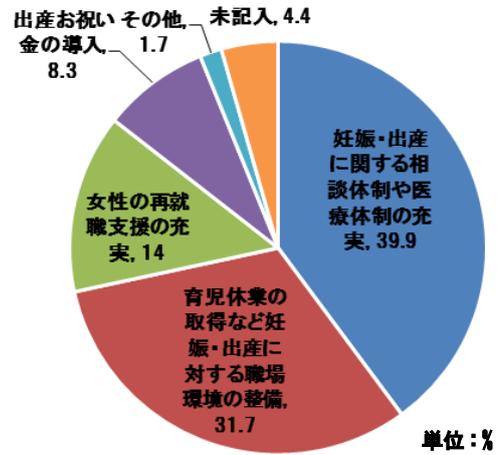


問 15 出産希望をかなえるために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

●「相談体制や医療体制の充実」と「職場環境の整備」が高い値

・出産の希望をかなえるためには、「妊娠・出産に関する相談体制や医療体制の充実」(39.9%)と「育児休業の取得など妊娠・出産に対する職場環境の整備」(31.7%)の2項目で合わせて71.6%にのぼり、妊娠中や子育てに関するサポート体制の充実が求められていることがうかがえます。

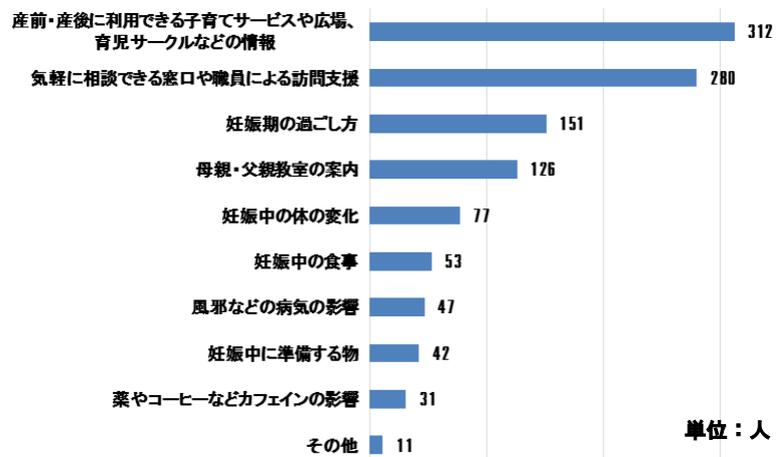
・また、「女性の再就職支援の充実」(14.0%)も3位となり、2位の「職場環境の整備」と合わせると45.7%が就労環境等の整備・充実を求めており、出産等に関して、離職や再就職等の問題が大きいことがうかがえます。



問 16 白老町で妊娠期を安心して過ごすために、どのような情報や支援が必要だと思いますか (3つまで複数回答可)。

●「子育て関係サービスや育児サークルの充実」および「相談窓口や訪問支援」のニーズが高い

・「産前・産後に利用できる子育てサービスや広場、育児サークルなどの情報」と「気軽に相談できる窓口や職員による訪問支援」が多数を占め、子育てに対する不安解消等の施策の必要性がうかがえます。

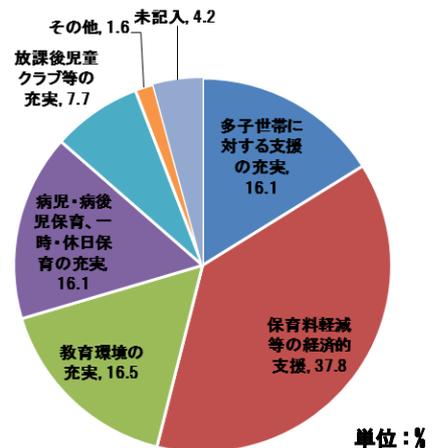


問 17 子育てしやすくするために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

●最も多いのは、保育料軽減 37.8%

・子育てをしやすくする環境整備としては、「保育料軽減等の経済的支援」(37.8%)が圧倒的に多く、また、「多子世帯に対する支援の充実」(16.1%)と合わせ、子育てに関する経済的負担の大きさがうかがえます。

・その他、「教育環境の充実」(16.5%)、「病児・病後児保育、一時・休日保育の充実」(16.1%)が続き、学力向上や子育てに関するサポート体制の必要性の高さがうかがえます。



(4) これまでの暮らしに対する評価と今後の重要度

問 18 「第 5 次白老町総合計画」における 5 つの基本方針に基づく取組みへの満足度

★ 5 つの基本方針全てにおいて満足度が前回調査を上回っています。

基本方針	満足度 () 内は前回調査値
<p>＜基本方針 1 生活・環境＞</p> <p>◆人と環境にやさしい 安全で快適に暮らせるまち</p> <p>自然と人が共生できるよう、環境保全や循環型社会の形成に配慮し、町民の快適な暮らしを支える生活環境の向上に取り組みます。また、災害などから町民の生命と財産を守り、誰もが安全で安心して暮らすことができる、やさしさのある住み良いまちづくりを進めます。</p>	<p>55.7% (54.7%)</p>
<p>＜基本方針 2 健康・福祉＞</p> <p>◆支えあい みんなが健やかに安心して暮らせるまち</p> <p>自らが積極的に行う健康づくりを推進するとともに、安心して子どもを産み育て、誰もが生涯を通して住み慣れた地域でいきいきと健やかに生活することができるよう、町民と行政が連携し、みんなで支えあう心の通ったまちづくりを進めます。</p>	<p>54.2% (52.5%)</p>
<p>＜基本方針 3 教育・生涯学習＞</p> <p>◆生きる力を育み 生きがいを実感できるまち</p> <p>家庭、学校、地域の連携を深め、次代を担う子どもたちが、確かな学力と体力、豊かな人間性を育むことができる教育環境の整備を進めます。また、アイヌ文化の伝承・保存、普及をはじめ、歴史や文化を大切に受け継ぐとともに、年齢にかかわらず誰もが生涯にわたって、生きがいを持って心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めます。</p>	<p>53.7% (50.7%)</p>
<p>＜基本方針 4 産業＞</p> <p>◆地域資源を活かした 個性あふれる産業のまち</p> <p>厚みのある産業構造と豊富な地域資源を有効に活かしつつ、地域産業の経営基盤の強化を促進します。あわせて、「食材王国しらおい」の推進による地場産業の連携や企業誘致による新事業の創出など、バランスのとれた産業の振興を図り、新たな雇用が生まれる、個性あふれるまちづくりを進めます。</p>	<p>50.0% (47.1%)</p>
<p>＜基本方針 5 自治＞</p> <p>◆人と環境にやさしい 安全で快適に暮らせるまち</p> <p>自治基本条例に基づき、自主的な町民活動や町政参画を促進します。また、町民と行政との対話や情報共有を図りながら、効率的かつ効果的な行財政運営を推進することにより、お互いへの理解と信頼を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働のまちづくりを進めます。</p>	<p>50.6% (50.4%)</p>

問 19 【生活・環境】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①安全な暮らし	<p>【施策の目標】 すべての町民が、安心して日々の生活を送ることができるよう、防犯対策や交通安全の推進、各種相談・支援体制の充実に努め、安全・安心なまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・防犯対策の推進・交通安全の推進・平和活動の推進 ・消費生活・町民相談の充実</p>	58.3% (56.9%)	79.4% (77.9%)
②防災	<p>【施策の目標】 東日本大震災を教訓に「防災」対策に加え、被害を最小限に軽減する「減災」の視点から、常日頃より災害に対する意識を高め、「自助」「共助」「公助」の役割分担と相互の連携による地域社会が一体となった防災体制の構築を図り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・総合的防災体制の確立・災害応急対策の充実 ・防災教育の推進・災害に強いまちづくり</p>	56.8% (52.8%)	85.6% (83.6%)
③治水・海岸保全	<p>【施策の目標】 高波や高潮、越波などの海岸被害、河川の氾濫や洪水による被害から町民の生命や財産を守り、また、海岸線の侵食被害を防止し、国土を保全するため、海岸保全対策を推進するとともに、河川等の環境整備による治水対策を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・海岸保全の推進・治水対策の推進</p>	56.0% (52.4%)	83.4% (80.9%)
④消防・救急	<p>【施策の目標】 事故や火災等から町民の生命や財産を守るため、地域ぐるみの火災予防思想の普及や防火安全対策の強化を図り、火災予防を推進します。</p> <p>また、消防・救急体制の強化や救助技術などの習得による消防職員の資質の向上、施設・設備の近代化や高度化を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・消防体制の充実・火災予防対策の充実・救急救助体制の充実 ・消防団体制の充実</p>	66.0% (63.6%)	83.7% (82.8%)
⑤環境保全	<p>【施策の目標】 豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出削減に向け、環境に対する意識の普及啓発、省エネルギーやごみの減量・資源化を進め、環境への影響に配慮した循環型の地域社会づくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・計画的な環境行政の推進・資源循環型社会の形成 ・自然との共生・公害の未然防止・地球温暖化対策の推進</p>	57.7% (54.8%)	77.2% (74.9%)
⑥環境美化・衛生	<p>【施策の目標】 町民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、景観や衛生に配慮した清潔で美しいまちづくりを目指します。</p> <p>また、町民が安全、快適に暮らせるように公衆衛生の確保やモラル・マナーの向上を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・特色ある景観の形成・環境美化の推進・生活衛生の確保 ・愛がん動物の適正飼育の推進・火葬場、墓園墓地の適正管理</p>	54.9% (52.8%)	75.1% (70.6%)
⑦公園・緑地	<p>【施策の目標】 みどり豊かな潤いある町民生活と憩いの場を保全・創出するため、公園や緑地、広場などの整備と維持管理を計画的に進めるとともに、町民による緑化活動を支援し、行政と町民などの協働により、地域と連携した花と緑の環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・公園・緑地の保全と整備・参加と協働による緑化の推進</p>	55.1% (54.8%)	70.1% (68.8%)

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑧土地利用・住環境	<p>【施策の目標】 将来にわたり持続的な地域社会を構築するため、自然との調和や人とまちのつながりに配慮した総合的・計画的な土地利用を進めます。 また、安全・安心で快適に住み続けることができるよう、社会環境や多様なニーズに応じた良質な住宅や公営住宅などの整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・土地利用の推進と適正配置・安全で快適な住まいづくり ・公営住宅、町有住宅の整備・移住、定住の促進</p>	47.5% (46.7%)	72.3% (69.8%)
⑨上水道	<p>【施策の目標】 生活基盤の柱の一つである水道水の安全・安定な供給体制確保のため、水道施設の適切な維持・整備を進めるとともに、水道事業の健全経営に努め、安全でおいしい水の安定供給を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・安全で安心な水道給水の充実・利用者の信頼性の向上 ・水道事業の健全な経営</p>	66.1% (65.1%)	83.2% (79.6%)
⑩生活排水処理	<p>【施策の目標】 生活排水を適切に処理することにより、衛生的な生活環境を保持するとともに、河川や海などの水質を保全し、美しく快適な居住環境を創出します。</p> <p>【基本事業】 ・安全で快適な公共下水道の整備・し尿、生活排水処理の充実 ・下水道事業の健全な経営</p>	61.2% (61.8%)	82.0% (77.7%)
⑪道路	<p>【施策の目標】 地域産業や経済の活性化、快適で利便性の高い交通ネットワークの形成を図るとともに、災害等緊急時の迅速な避難・救助活動を支えるため、幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行い、安全で快適な道路環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・広域幹線道路の整備促進・町民生活を支える町道の整備 ・町道、橋りょう等の維持管理の充実</p>	51.6% (49.8%)	79.9% (74.9%)
⑫公共交通機関	<p>【施策の目標】 町民の日常生活における身近な移動手段を確保するため、関係機関との連携により、利便性の高い、魅力ある公共交通の維持・確保を促進するとともに、利用者ニーズにあった公共交通サービスの提供に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・公共交通ネットワークの維持、確保 ・日常生活を支える移動手段の維持、確保</p>	42.3% (43.0%)	81.1% (76.4%)
⑬地域情報化	<p>【施策の目標】 情報通信の利用機会・地域間格差を改善し、豊かな町民生活の実現や地域社会の活力ある発展を図るため、情報通信基盤整備を促進するとともに、情報通信技術を活用した地域情報化や、行政の情報化によるサービスの向上に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・情報通信基盤の整備・地域情報化の推進 ・難視聴地域の解消促進</p>	51.5% (51.2%)	69.7% (67.8%)

※参考 「満足度」と「重要度」の算出方法

各施策に対する満足度及び重要度は、それぞれ1～5の5段階評価による回答をいただきました。

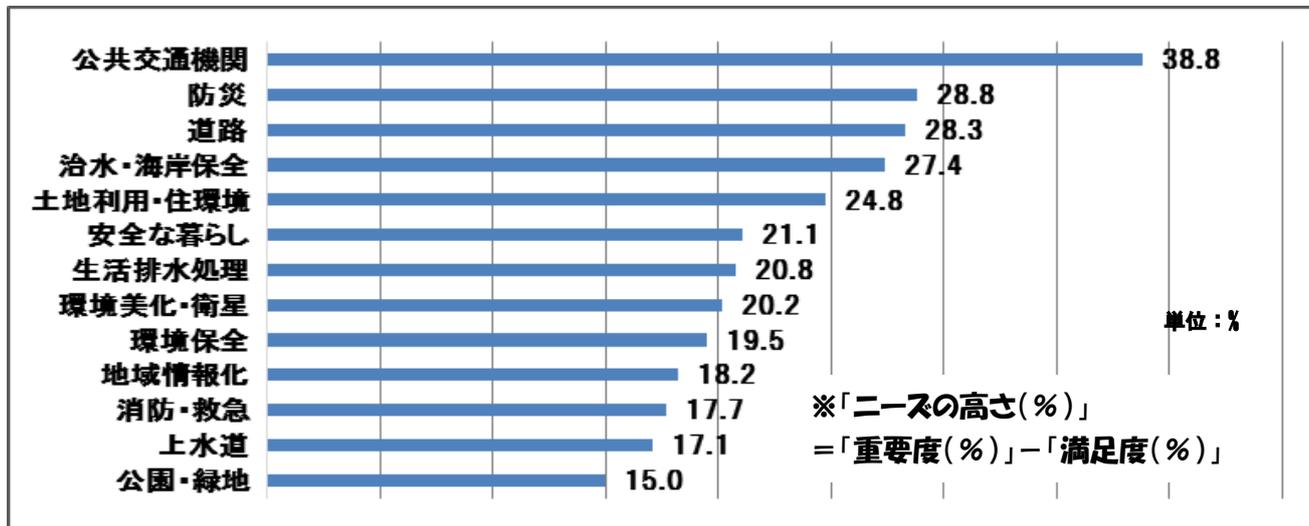
配点を「1（満足・重要）＝100%」、「2（まあ満足・まあ重要）＝75%」、「3（どちらともいえない）＝50%」、「4（少し不満・あまり重要ではない）＝25%」、「5（不満・重要ではない）＝0%」とし、算術平均により、「満足度（%）」と「重要度（%）」を算出しています。

《計算式》（「1」回答者数×100%＋「2」回答者数×75%＋「3」回答者数×50%＋「4」回答者数×25%＋「5」回答者数×0%）÷全回答者数

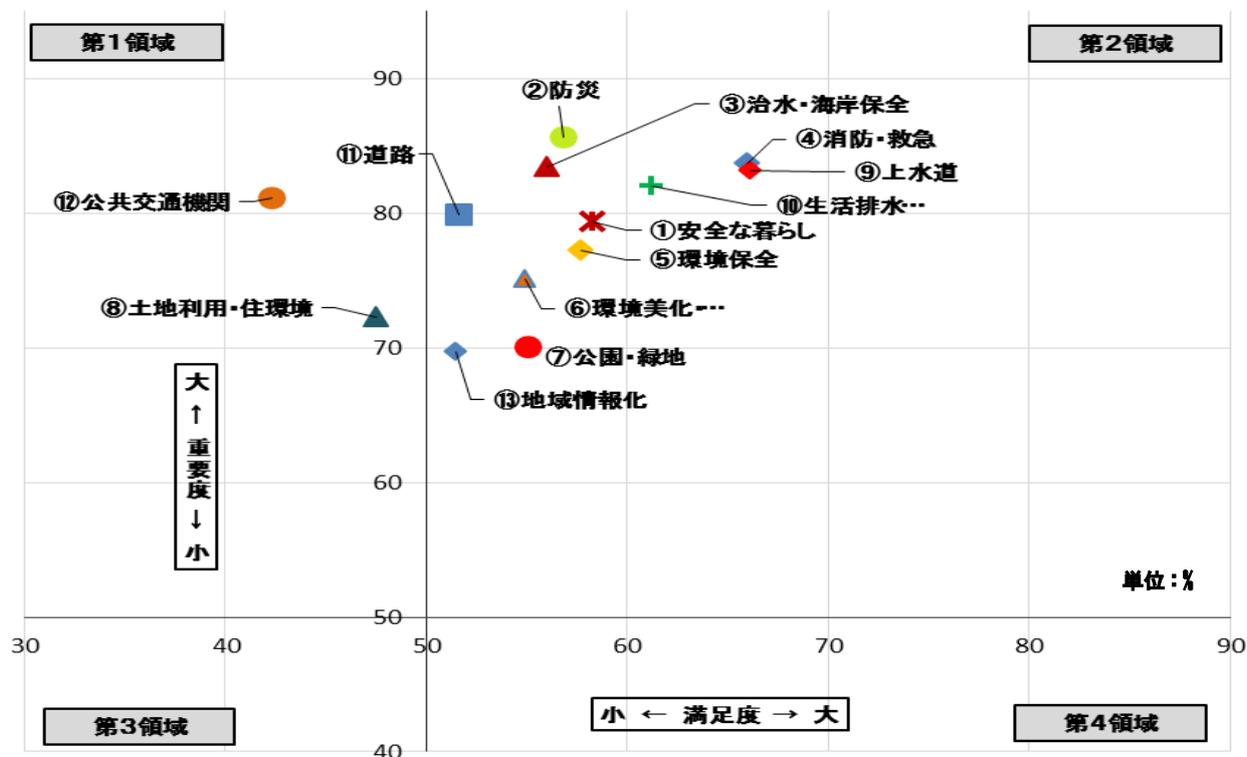
【生活・環境】分野の施策に対するニーズの高さ

★【生活・環境】分野において、最もニーズが高いのは「公共交通機関」となり、次いで「防災」「道路」となりました。

★第1領域（今後特に力を入れるべき施策）は、「公共交通機関」、「土地利用・住環境」の2施策となっており、特に「公共交通機関」について、その充実が求められていることがうかがえます。



「生活・環境」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

- | | | |
|--|---|----------------|
| 【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) | ⇒ | 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) | ⇒ | 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) | ⇒ | 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) | ⇒ | 見直しを検討すべき施策 |

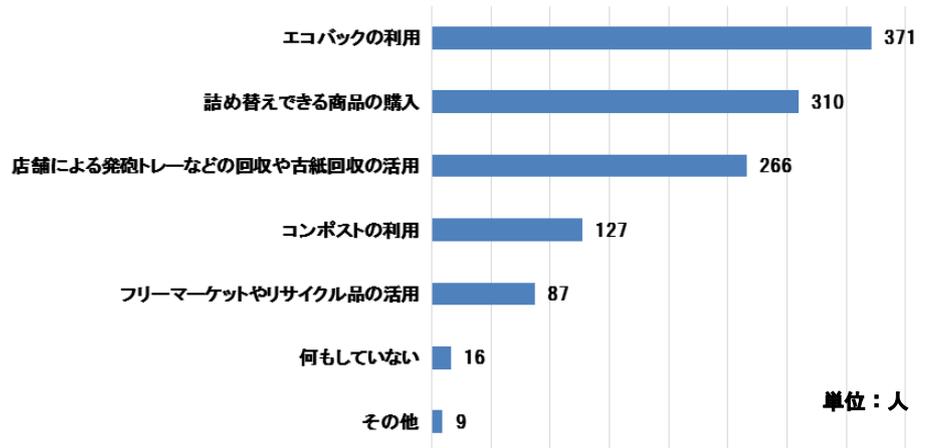
問 20 あなたは、ゴミを減らすために、実施していることはありますか（複数回答可）。

● **エコバックの利用が**

最多

・ゴミの減量化に関しては、「エコバックの利用」「詰め替えできる商品の購入」「店舗による発砲トレーなどの回収や古紙回収の活用」が上位となり、リサイクルに対する意識の向上がうかがえます。

・その他「物を買わない」「リサイクルの徹底」「エコクッキング実施」の回答がありました。



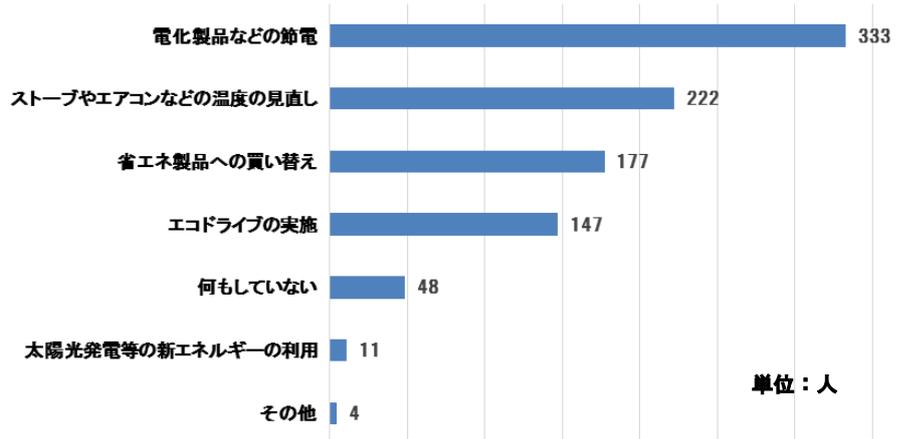
問 21 あなたは、地球温暖化防止のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

● **「電化製品などの節電」が**

最も多い

● **空調設備の温度設定の心が**
けも多い

・各家庭等において、節電意識の高まりがうかがえるとともにエコドライブを実践しているという回答が多くありました。



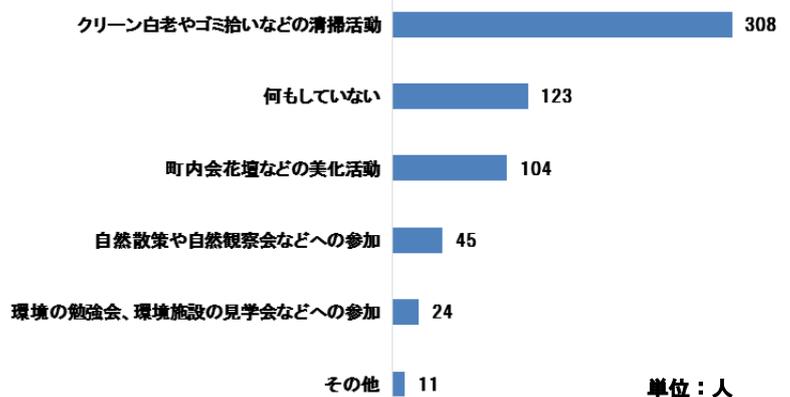
問 22 あなたは、環境保護のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

● **「クリーン白老やゴミ拾いなどの**
清掃活動」が最多

・環境保護に関しては、「クリーン白老やゴミ拾い等の清掃活動」が最も多く、「町内会花壇などの美化活動」と合わせ、町内会等による環境保護活動が活発に行われている様子うかがえます。

・一方、「何もしていない」が2位になるなど、個人に対する意識啓発の必要性がうかがえます。

・その他に挙げられたのは、「自宅周りの清掃・美化」「ゴミ出し曜日の徹底」でした。

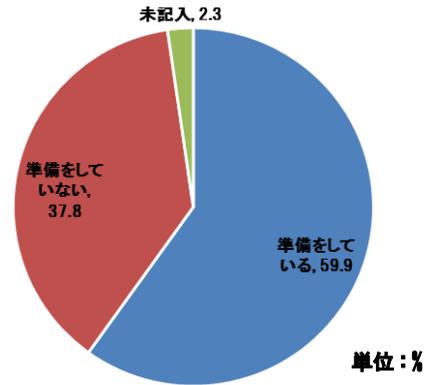


問 23 あなたは、災害や緊急時に備えた準備をしていますか。

●「準備をしている」と答えた割合は 59.9%

・災害や緊急時に備えた何らかの準備をしている人は、59.9%と防災意識の高まりがうかがえます。

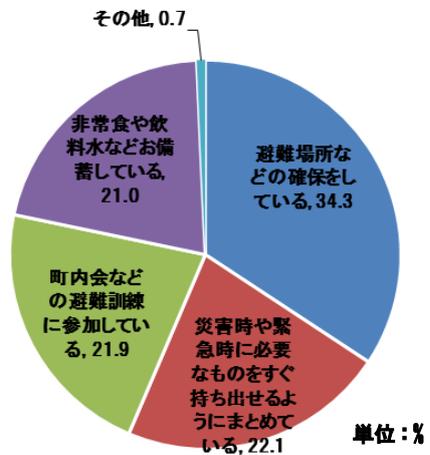
一方、約4割の方が、「準備をしていない」ため、継続的な啓発が必要な状況にもあります。



問 23-2 「1 準備をしている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような準備をしていますか（複数回答可）。

●「避難場所の確保」が最多

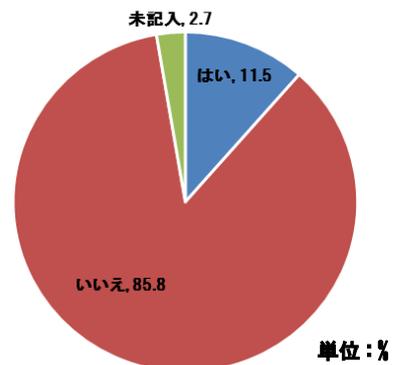
・災害時等への準備としては、「避難場所などの確保をしている」が最も多く、「災害時や緊急時に必要な物をすぐ持ち出せるようにまとめている」「町内会などの避難訓練に参加している」「非常食や飲料水などを備蓄している」の3項目については、均衡しており、複数の準備をされていることがうかがえます。



問 24 災害時に必要な1人3日間の食料は、何がどのくらい必要か知っていますか。

●「はい」はわずか 11.5%

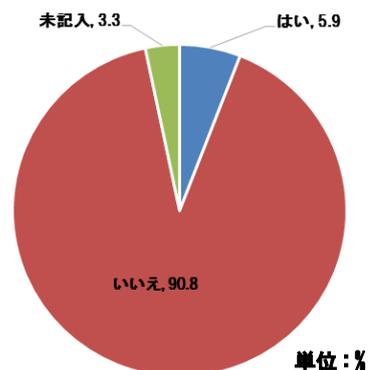
・災害時に必要な食料の種類や量については、85.8%の方が「いいえ」と回答していますが、一方で、「具体的に知りたい」との記述もあり、関心の高さがうかがえます。



問 25 避難生活が長期化した場合、体調を崩さないような食事の摂り方を知っていますか。

●知っている割合 5.9%

・被災等による避難生活を強いられたときの食事の取り方についての知識の有無の設問でしたが、90.8%が「いいえ」との回答となる一方で、「具体的に知りたい」という声も多くありました。



問 26 【健康・福祉】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

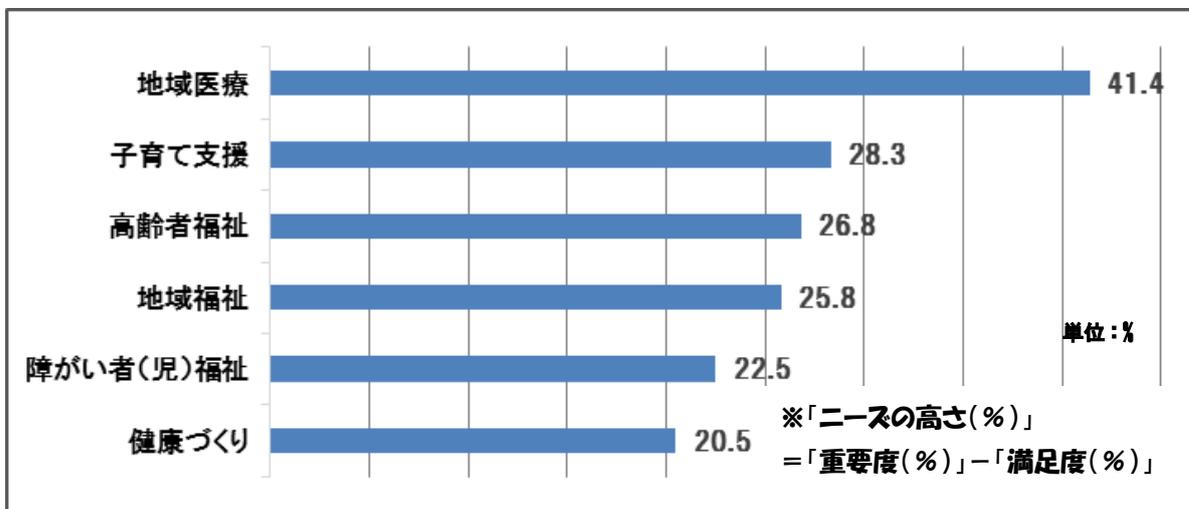
() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①健康づくり	<p>【施策の目標】 町民が生涯にわたり生き生きと健康的な生活が送れるよう、ライフステージや個々の状態に応じた、きめ細かな保健サービスの充実を図ります。 また、自分の健康状態に意識や関心を持ってもらうため、主体的な健康づくり活動を普及啓発することで一次予防対策を促進するとともに、特定健康診査や各種検診の受診促進による疾病の早期発見、早期治療という二次予防に取り組み、心身ともに健やかな暮らしの支援を推進していきます。</p> <p>【基本事業】 ・保健・医療・福祉のネットワーク化・保健サービスの充実 ・自主的な健康づくりの推進・健康保険制度等の推進</p>	62.0% (58.1%)	82.5% (79.7%)
②地域医療	<p>【施策の目標】 町民の健康を支え、地域で安心して暮らせるよう、町内の中核的病院である町立病院の機能強化と経営の安定化を図ります。 また、町内外の医療機関との連携により、望まれる地域医療の確保・維持及び救急医療体制の整備に努めるなど、安全・安心で適切な医療サービスを受けられる環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・安定した地域医療の確保・救急医療体制の充実</p>	44.4% (39.9%)	85.8% (89.9%)
③地域福祉	<p>【施策の目標】 すべての町民が住み慣れた地域で、健康で文化的な生活を安心して送ることができるよう、高齢者や障がい者などへの理解と認識を深めるとともに、各機関が適切に役割を果たしながら連携を強化し、地域ぐるみで支えあふ福祉体制の整備、充実をめざします。</p> <p>【基本事業】 ・地域福祉体制の充実・福祉拠点・施設の充実 ・バリアフリーのまちづくり・生活の安定と自立援助</p>	54.1% (51.4%)	79.9% (78.7%)
④子育て支援	<p>【施策の目標】 家庭での子育ての大切さや地域ぐるみで子育てを支援する意識を啓発し、ゆとりある子育て環境のもと、すべての子どもたちが幸せに育ち、安心して子どもを生み育てられる地域の実現を計画的に推進します。</p> <p>【基本事業】 ・結婚希望の実現・母子保健対策の充実 ・子育て支援環境の整備・保育の充実 ・ひとり親家庭支援の推進</p>	53.0% (49.7%)	81.3% (78.8%)
⑤障がい者(児)福祉	<p>【施策の目標】 障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の構成員として尊重され、互いに助け合うことにより、住み慣れた地域の中で自立し、生きがいを持ちながら安心して生活できるまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・障がい者理解の促進・障がい者の自立支援の促進 ・障がい者の社会参加の促進・安全、安心な地域生活の充実 ・障がい児の相談、支援の充実</p>	56.3% (54.0%)	78.8% (76.6%)
⑥高齢者福祉	<p>【施策の目標】 高齢者が生涯にわたり、安心して住み慣れた地域でいきいきとした生活を送れるよう、各種福祉サービスを充実するとともに、地域で支えあふネットワークづくりや、自主的な社会参加による生きがいづくりを推進します。</p> <p>【基本事業】 ・高齢者支援対策の推進・高齢者の生きがいづくりの推進 ・高齢者医療制度の推進・介護保険制度の推進</p>	55.4% (53.2%)	82.2% (79.5%)

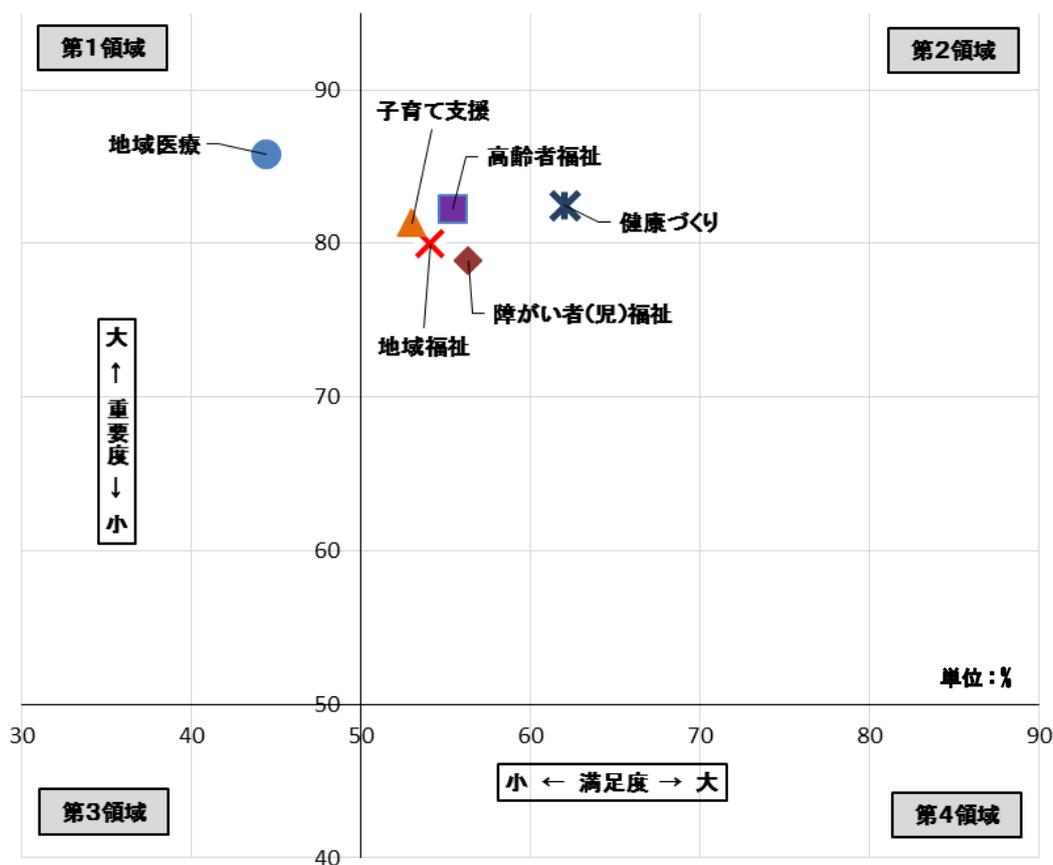
【健康・福祉】分野の施策に対するニーズの高さ

★地域医療のニーズが非常に高く（41.4%）、5つの分野全ての施策の中でトップとなりました。

★第1領域（今後特に力を入れるべき施策）に入っているのは、地域医療となっています。



「健康-福祉」分野の満足度・重要度分布図



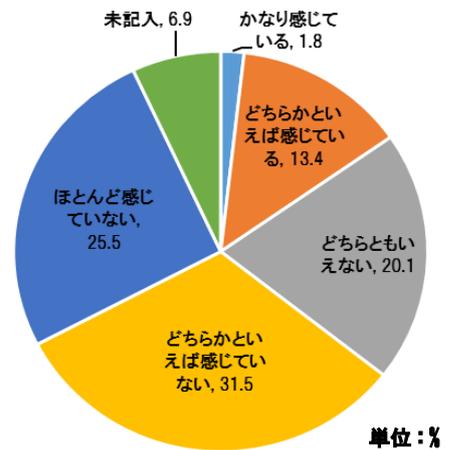
※ 各領域の説明

- 【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策
- 【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策
- 【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策
- 【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

問 27 あなたは、白老町に住んでいて安心して医療を受けることができますと感じていますか。

●「感じている」は 15.2%（前回より 5.7 ポイント増）

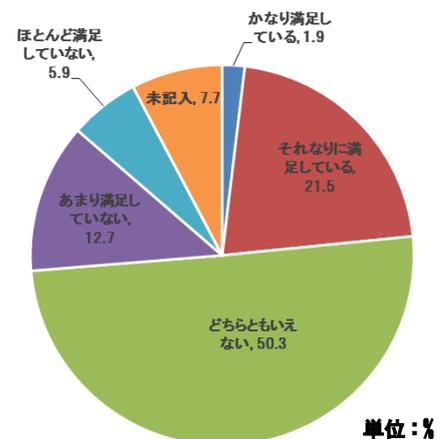
・白老町で安心して医療を受けることができると「感じている」割合は、前回より 5.7 ポイント増の 15.2%、一方、「感じていない」は 57.0%となりました。



問 28 あなたは、高齢者や障がいを持つ方への生活支援に満足していますか。

●満足している割合 23.4%

・「満足している」(23.4%) が「満足していない」(18.6%) を上回っています。



問 28-2 問 28 で「4 あまり満足していない」または「5 ほとんど満足していない」を選んだ方にお聞きします。

高齢者や障がい者への生活支援に満足していない理由をお書きください。
また、現在あるサービスの他に望むものがあればお書きください。

●満足していない理由で多かったもの

① 交通不便 ②利用料の経済的負担 ③サービス内容がよくわからない となりました。

●望むサービスに挙げられたものは「送迎サービス」でした。

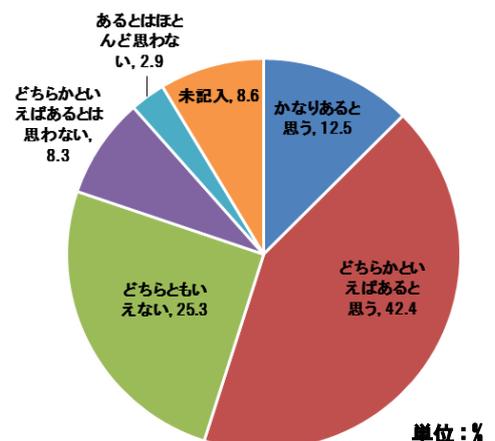
・「満足していない」理由に「交通不便」、「望むサービス」についても「送迎サービス」との回答から、移動困難者の増加とその対策の必要性の高まりがうかがえます。

・また、高齢化社会と情報化社会の進展により、情報量の増加に対応する、わかりやすい説明の必要性が高まっていることがうかがえます。

問 29 あなたは、自分がいきいきと生活しているという健康感がありますか。

●54.9%が「いきいきと生活している健康感がある」

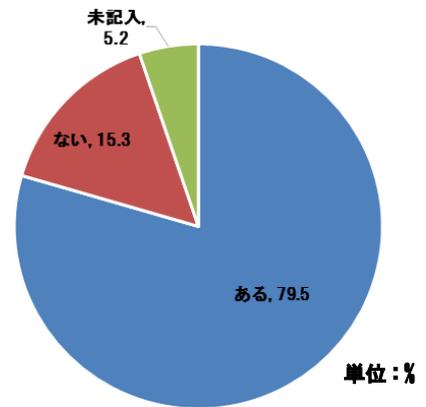
・半数以上が、「いきいきと生活している健康感がある」と回答しており、多くの皆さんが、健康的な生活を送っていることがうかがえます。



**問 30 あなたは、健康のためにやっていること、または
気をつけていることがありますか。**

●「やっていること、気をつけていることがある」79.5%

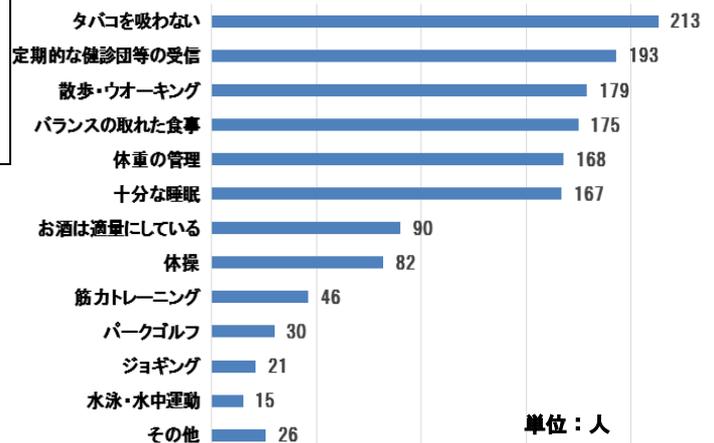
・前項で半数以上の方が、「いきいきと生活している健康感がある」と回答したことを裏付けるように79.5%の方が、「健康のためにやっていること、または気をつけていることがある」と回答しており、健康意識の高まりがうかがえます。



**問 30-2 「1 健康のためにやっていること、
気をつけていることがある」と答えた方にお
聞きます。具体的にどのようなことを行っ
て（気をつけて）いますか（複数選択可）。**

- 一番多いのは「タバコを吸わない」こと
- 「健康診断の受診」（予防医療）が上位に
- 「睡眠」や「食事」など日常生活の心がけ

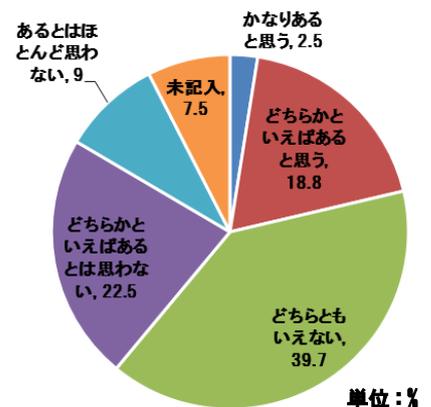
・「お酒は適量にしている」と嗜好品を調整している回答や、体操やパークゴルフなど運動をしているという回答も多くありました。



**問 31 あなたは、白老町は子どもを生き育てや
すい環境にあると思いますか。**

- 「あると思う」割合は 21.3%
- 「どちらともいえない」割合は 39.7%
- 「あると思わない」割合は 31.5%

・子どもを生き育てやすい環境に「あると思わない」（31.5%）が「あると思う」（21.3%）を10ポイント以上上回っていることから、子育て環境の充実の必要性がうかがえます。

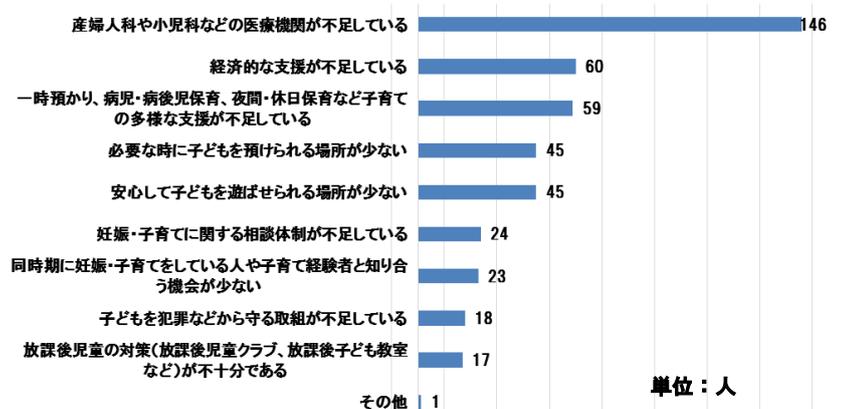


**問 31-2 「5 子どもを生き育てやす
い環境にあるとは思わない」「4 ど
ちらかといえば子どもを生き育て
やすい環境にあるとは思わない」と
答えた方にお聞きます。
その理由は何ですか（複数選択可）**

- 医療機関の不足が突出
- 経済的支援を望む声も
- 一時預かり等サービスを希望

・「子どもを産み育てやすい環境にある

と思わない」最大の理由は、産婦人科や小児科など町内に不足する医療機関を指摘する回答が最も多く、その他、経済的支援や一時預かり等を含めて、物心両面にわたる子育て支援環境の充実を求める回答が多い傾向にあります。



問 32 【教育・生涯学習】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

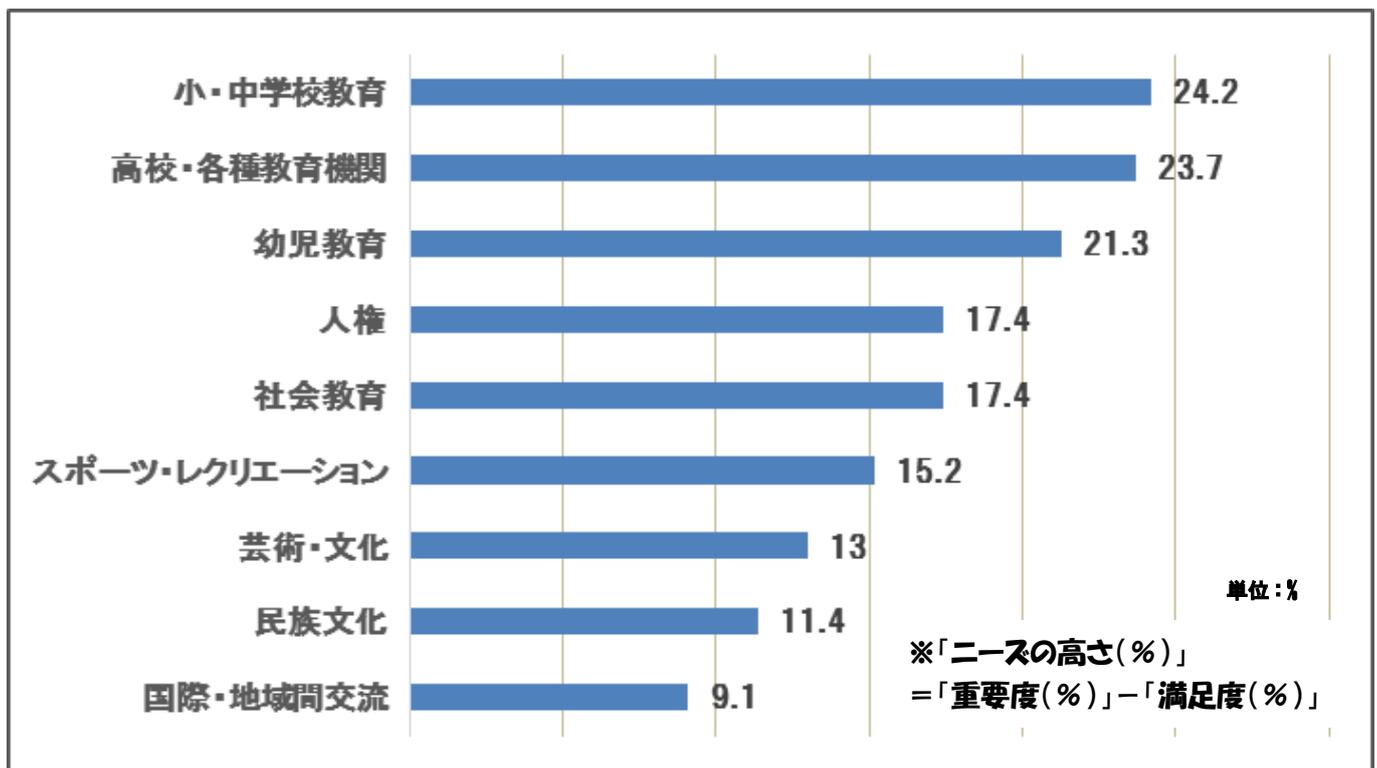
施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
① 幼児教育	<p>【施策の目標】 基本的な生活習慣や生きる力、思いやりの心、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼稚園教育の充実を図るとともに、子どもが健やかに成長し安心して子育てができる環境の充実を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・就園の支援 ・教育環境の充実</p>	56.8% (53.9%)	78.1% (76.6%)
② 小・中学校教育	<p>【施策の目標】 地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな人間性と感性、心身の健やかな育成など、子どもたちの生きる力を育む教育を推進するとともに、地域文化への理解と国際感覚豊かな人材の育成を行います。 また、学校施設の適切な整備を推進するとともに、学校と家庭、地域との相互交流と連携により、子どもたちが安心していきいきと学ぶことができる教育環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・確かな学力の育成 ・特色ある教育活動の充実 ・教師の指導力の充実 ・学校施設設備等の充実 ・教育環境の整備 ・特別支援教育の充実 ・学校・家庭・地域の連携の促進 ・安全安心な学校給食の提供</p>	56.2% (52.7%)	80.4% (80.2%)
③ 高校・各種教育機関	<p>【施策の目標】 生徒一人ひとりの個性や能力・適正に応じた、多様で特色ある教育を進めるとともに、高等学校等への進学機会の確保と教育環境の充実を促進します。 また、地域の知的拠点である高等教育機関の地域に開かれた生涯学習機能の充実を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・教育の充実と教育機会の拡充 ・高等教育機関との連携強化</p>	53.9% (51.8%)	77.6% (76.3%)
④ 社会教育	<p>【施策の目標】 町民誰もが生涯にわたり、楽しさ、喜びを実感し、いつでもどこでも学習でき、いきいきと文化的な生活が送れるよう、それぞれの年代やニーズに応じた学習機会の提供や環境の整備を図るとともに、青少年の健全育成等、「人づくり」に寄与する、町民主体による社会教育活動の活性化を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・学習機会、学習環境の充実 ・家庭教育、地域教育の推進 ・ふるさと教育、体験学習の推進 ・社会教育施設の管理運営の充実</p>	54.1% (53.8%)	71.5% (69.0%)
⑤ 芸術・文化	<p>【施策の目標】 町民が豊かな心を持って潤いある生活を送るため、町民の芸術・文化に触れる機会の充実や自主活動を促進します。 また、町の貴重な文化遺産を後世に継承するため、史跡・文化財の保全と活用を進めます。</p> <p>【基本事業】 ・芸術、文化活動の推進・文化財の保全、活用 ・歴史と文化のまちの推進</p>	56.8% (56.4%)	69.8% (66.2%)
⑥ 民族文化	<p>【施策の目標】 2020年の「民族共生の象徴となる空間」の開設を機に、世界に拓かれたまちを目指して、民族や文化等の多様性を理解し、尊重する環境づくりを進めます。 また、独自の自然観を併せ持ったアイヌ文化を次世代へ継承するため、国内外各層への幅広い普及啓発とともにアイヌ語、古式舞踊、伝統的工芸技術などアイヌ文化の保存・伝承に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・アイヌ文化の普及促進、保存伝承・アイヌ民族博物館の充実 ・民族共生の象徴となる空間の整備促進</p>	60.3% (63.4%)	71.7% (65.7%)

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑦スポーツ・レクリエーション	<p>【施策の目標】 町民が生涯にわたって運動に親しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、年齢や体力などに応じた多様なスポーツ・レクリエーション機会の提供を図るとともに、スポーツ施設の安全性・利便性を高め、「誰でも」「どこでも」「気軽に」運動に親しむことのできる環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・スポーツ・レクリエーション活動の充実 ・スポーツ・レクリエーション施設の整備</p>	54.6% (53.4%)	69.8% (66.7%)
⑧国際・地域間交流	<p>【施策の目標】 姉妹都市との親善を深めるとともに、町民の社会性・文化性を育み、国際感覚豊かな魅力ある人材を育成するため、国内外の姉妹都市との交流を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・国内交流の推進 ・国際交流の推進</p>	54.6% (52.7%)	63.7% (55.8%)
⑨人権	<p>【施策の目標】 町民一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない、誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現をめざし、様々な機会を通じて人権に対する正しい理解を深めるよう、学習機会や啓発活動を進め、人権に関する相談や支援体制の整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・人権擁護活動の促進・男女共同参画の推進</p>	54.5% (52.7%)	71.9% (70.7%)

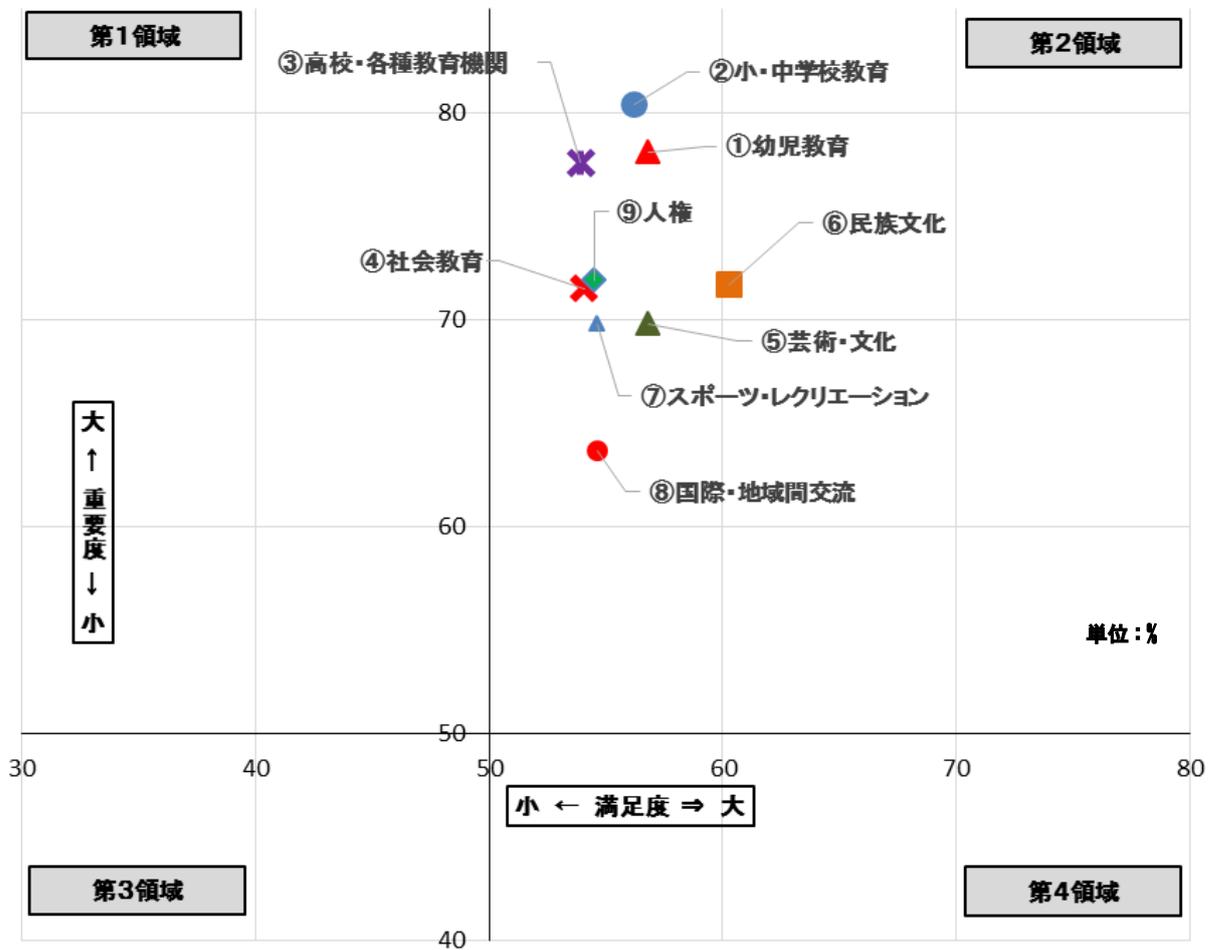
【教育・生涯学習】分野の施策に対するニーズの高さ

★小・中学校教育の重要度が高く、ニーズが最も高くなっています。

★全ての施策が第2領域（継続して取り組むべき施策）に入っており、民族文化は最も満足度が高くなりました。



「教育・生涯学習」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

- 【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策
- 【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策
- 【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策
- 【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

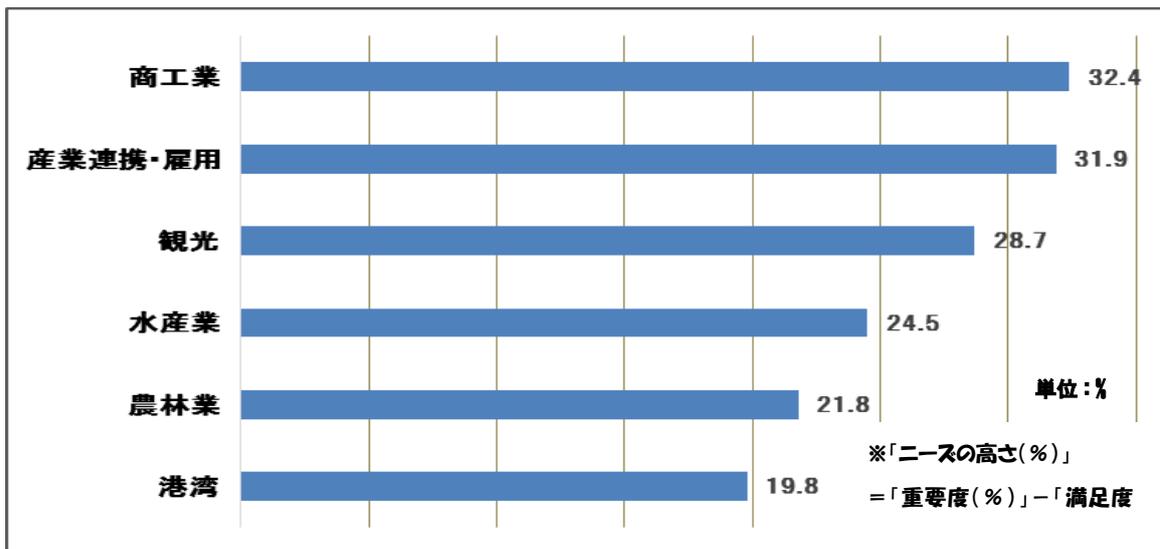
問 33 【産業】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

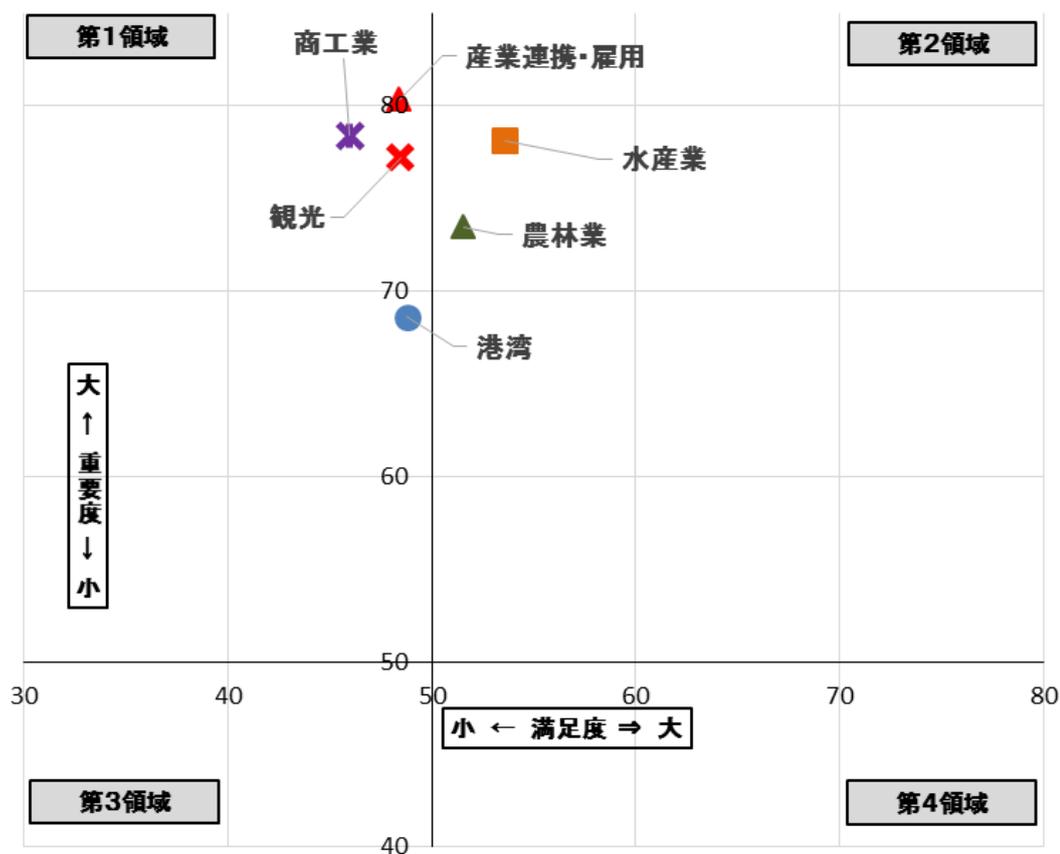
施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①産業連携・雇用	<p>【施策の目標】 地場製品の安定した需給体制の確立とブランド力の向上を図るとともに、農林漁業者と2次・3次産業との連携による6次産業化を推進します。 また、すべての勤労者や求職者が、自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができるよう、雇用環境の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・起業と産業連携の促進 ・食材王国しらおいブランドの推進 ・雇用の拡大・雇用環境の充実</p>	48.4% (45.8%)	80.3% (79.8%)
②港湾	<p>【施策の目標】 海上貨物輸送の拠点となる地方港湾白老港の整備や施設の適切な維持管理を進めるとともに、商港区や関連施設の利用を促進し、地域経済の持続的な発展をめざします。</p> <p>【基本事業】 ・白老港の整備促進・商港区の利用促進・親しまれる港づくり</p>	48.8% (47.4%)	68.6% (66.4%)
③商工業	<p>【施策の目標】 地域経済基盤の強化や雇用の維持・創出を図るため、既存商工業の振興はもとより、新規企業の誘致を積極的に進めるとともに、豊富な地域資源を活用した新たな商品開発の推進や、急速に進展する高齢化社会や多様化する消費者ニーズに対応した魅力と特色のある商業機能の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・企業誘致の推進 ・商工業の活性化</p>	46.0% (40.6%)	78.4% (76.3%)
④観光	<p>【施策の目標】 豊かな自然やバラエティに富んだ食材、温泉や歴史・文化など様々な観光資源を活用し、魅力ある商品造成や環境を創出するとともに、本町の魅力を国内外に積極的に発信し、旅行者に選ばれる観光地をめざします。 また、2020年の「オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催及び「民族共生の象徴となる空間」の開設による来訪者の満足度を高めるため、常に観光資源、商品の改善に努めるとともに、おもてなしと思いやりの心あふれる受入れ体制の充実により、「よろこびと感動」を共有する観光のまちづくりを推進します。</p> <p>【基本事業】 ・魅力ある観光地の形成・受入れ環境の整備、充実 ・観光客誘致の推進</p>	48.5% (45.8%)	77.2% (76.4%)
⑤農林業	<p>【施策の目標】 農業や林産業の振興による地域活性化を図るため、安心・安全な生産体制の確立や生産能力の向上、担い手の育成、消費拡大など多面的な取り組みを進め、基盤の整備や経営の安定化を促進します。 また、森林の持つ多面的・公益的な機能の維持増進を図るため、森林の保全や整備を進めます。</p> <p>【基本事業】 ・農業基盤の整備 ・農業経営の強化 ・環境と人にやさしい農業の推進 ・森林の整備と保全 ・林産物の利活用の推進</p>	51.6% (49.5%)	73.4% (72.1%)
⑥水産業	<p>【施策の目標】 漁業者や水産加工業者の生産性や生産者価格の向上による経営の安定のため、装備・機械の近代化や担い手の育成、漁場など生産基盤の整備を推進するとともに、つくり育てる漁業、水産物の消費や販路の拡大、水産加工業の振興を図り、地域水産業の活性化を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・水産業経営の安定化・漁業基盤の強化 ・栽培漁業・資源管理型漁業の推進</p>	53.6% (54.6%)	78.1% (75.7%)

【産業】分野の施策に対するニーズの高さ

- ★商工業のニーズが最も高く、次に産業連携・雇用や観光も高いニーズとなっています。
- ★6つの施策のなかで、すべてが第2領域(継続して取り組むべき施策)に入っています。



「産業」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策

【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策

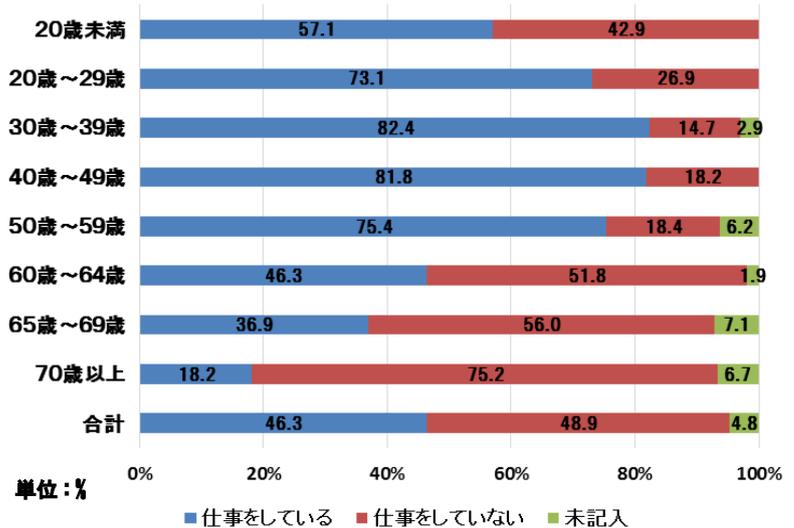
【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策

【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

問 34 あなたは現在、パートタイム、アルバイト等を含めて何か仕事をされていますか。

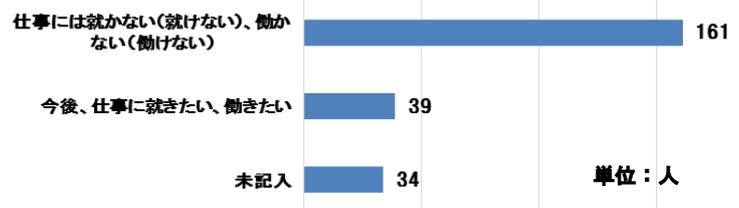
●「仕事をしている」と回答した割合は全体で 46.3%

・生産年齢人口において仕事をしている割合が高くなっていますが、60歳～64歳で46.3%、65歳～69歳で36.9%、さらには70歳以上でも18.2%の方が就労されており、全体的に高齢者の皆さんの就労期間が長期化していることがうかがえます。



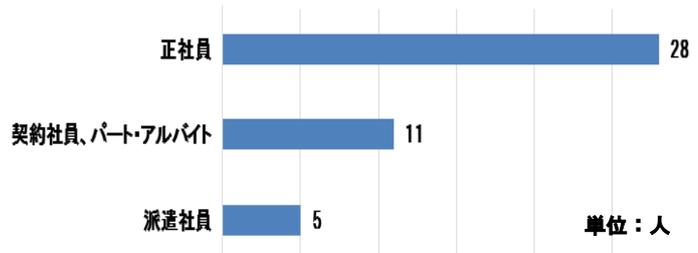
問 34-2 現在、「仕事をしていない」とお答えした方にお聞きします。今後、仕事に就きたい、働きたいとお考えですか。

●就労を考えている 68.8%



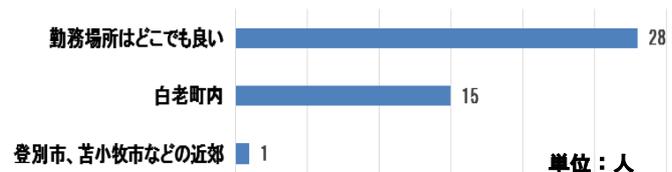
問 34-3 「今後、仕事に就きたい(仕事に就きたい)」とお答えした方にお聞きします。
1) 雇用形態として望むものは次のうちどれですか。(いずれか一つに○)

- 正社員 63.6%
- 契約社員、パート・アルバイト 25.0%
- 派遣社員 11.4%



2) 勤務場所として望むものは次のうちどれですか。(いずれか一つに○)

- 白老町内 34.1%
- 登別市、苫小牧市など近郊 2.3%
- 場所は問わない 63.6%



・就労していない方の68.8%は、今後、「仕事に就きたい、働きたい」と考えており、雇用形態については63.6%の方が「正社員」を望んでいます。ただし、勤務場所については、34.1%の方が町内と回答しているものの、「勤務場所はどこでも良い」との回答が最も多く、早期に就業希望であること、また、勤務条件等の質が重要視されていることがうかがえます。

問 34-4 現在、仕事に就きたい（仕事をしたい）ができない理由は何ですか。もっともあてはまるもの一つを選択してください。

- 最も多いのは「年齢的理由」
- 次に多いのは「身体的理由」
- 求人内容と希望が合わない

・高齢化社会の一方、年齢が高くなるにつれて、就労条件が厳しくなっていることがうかがえます。



問 35 就職や求職、労働環境の充実（環境整備）に関し望むものは何ですか。

1) 行政機関（国・道・町）に対し

- 相談窓口の開設 ●保育の充実 ●企業誘致

2) 企業・事業所（雇用者側）に対し

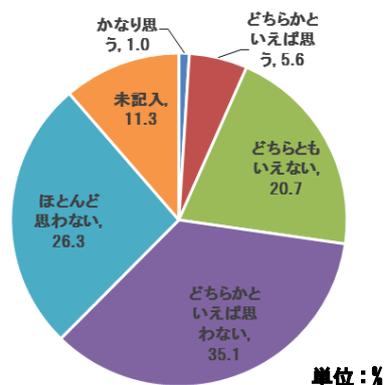
- 勤務時間・休日に融通が利くこと ●賃金の充実

・就労関係の環境整備として、行政には身近な相談体制や保育等のサポート面、企業・事業所等については、待遇面の充実が求められていることがうかがえます。

問 36 あなたは、白老町は働く場所が十分に確保されていると思いますか。

●確保されていると思う割合 6.6%

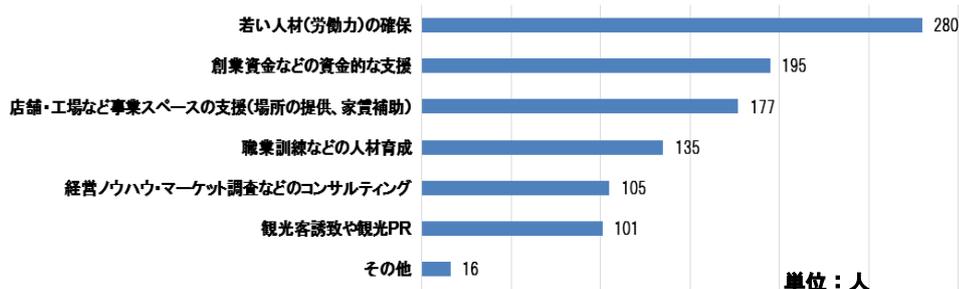
・町内で働く場所の充足度合については、「確保されていると思う」が前回調査（4.4%）を上回ったものの、依然として6.6%と低水準となっており、企業誘致や地域内経済の活性化の必要性がうかがえます。



問 37 町内で新たに事業を始めるために、何か必要（重要）と思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 若い労働力の確保
- 資金面の支援
- 事業スペースの支援

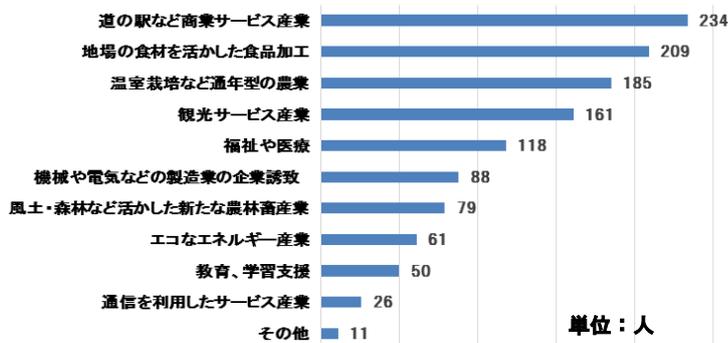
・町内における新規起業等の最大の課題は、創業資金等の資金面よりも労働力、特に若い人材の確保であることがうかがえます。



問 38 今後、白老町でどのような産業を成長させることがよいと思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 商業サービス産業
- 地元食材の食品加工
- 通年型農業 がトップ3

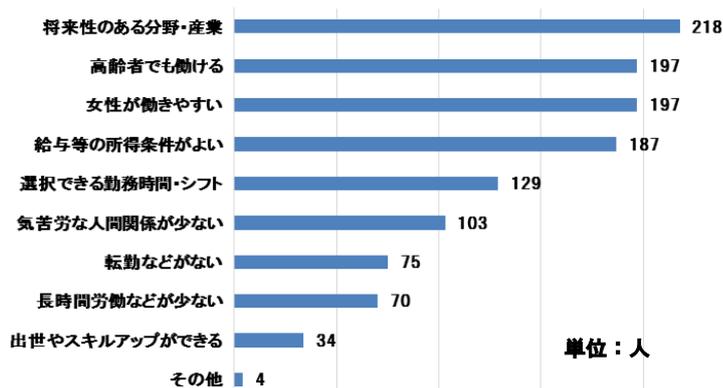
・地域の特性として、食材の特産品が多いことから、道の駅や食品加工業等のサービス産業への期待が高いことがうかがえます。



問 39 新たに町内に働く場(職場、仕事)を作るとしたら、どのような雇用、就労の条件が望ましいと思いますか(重要と思われるものを3つまで選択)。

- 将来性のある分野や産業
- 高齢者でも働ける
- 女性が働きやすい がトップ3

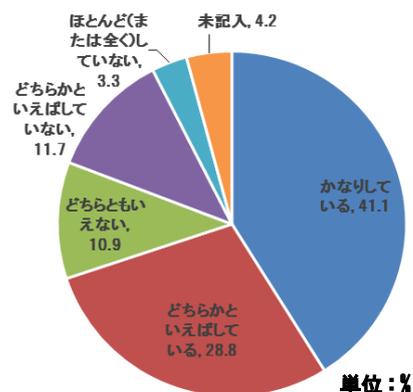
・成長産業への回答が多く寄せられた一方で、本町の人口構成から高齢者や女性の就労に対する関心が高いことがうかがえます。



問 40 あなたは、普段、白老町内のお店で食料品や日用品などの買い物をしていますか。

- 町内で買い物をしている割合 69.9% (前回 58.1%)

・町内で食料品や日用品等の調達をしている割合は 69.9%と前回調査時(58.1%)に比較して 11.8 ポイント上回りましたが、依然として 3 割程度は、近隣市町等の郊外型の大型スーパー等へ流出していることがうかがえます。



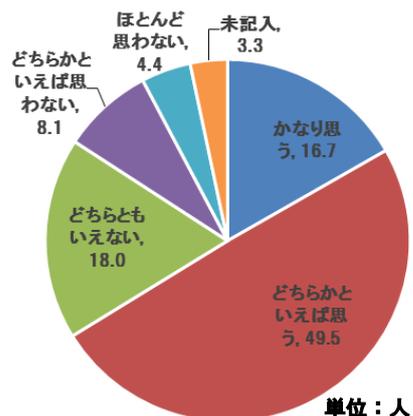
問 40-2 「5 ほとんど(または全く)していない」、「4 どちらかといえばしていない」と答えた方にお聞きします。あなたは普段どこで買い物をしていますか(複数選択可)。

- 苫小牧市 65.6%
- 登別市 51.0%
- 室蘭市 25.1%
- 札幌市 15.2%

問 41 あなたは、「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の地域ブランドや、全道トップクラスの生産量を誇る「鶏卵」や「しいたけ」、白老町の食材を利用した「白老バーガー&ベーグル」などの『食』を通してまちの活力や魅力が高まっていると思いますか。

- 高まっていると思う割合 66.2% (前回 63.4%)

・『食』を通じてまちの活力や魅力が高まっていると思う」と回答した方は、前回調査時(63.4%)を 2.8 ポイント上回る 66.2% となっており、本町の特産品である「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の認知度の高まりがうかがえます。



問 42 【自治】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

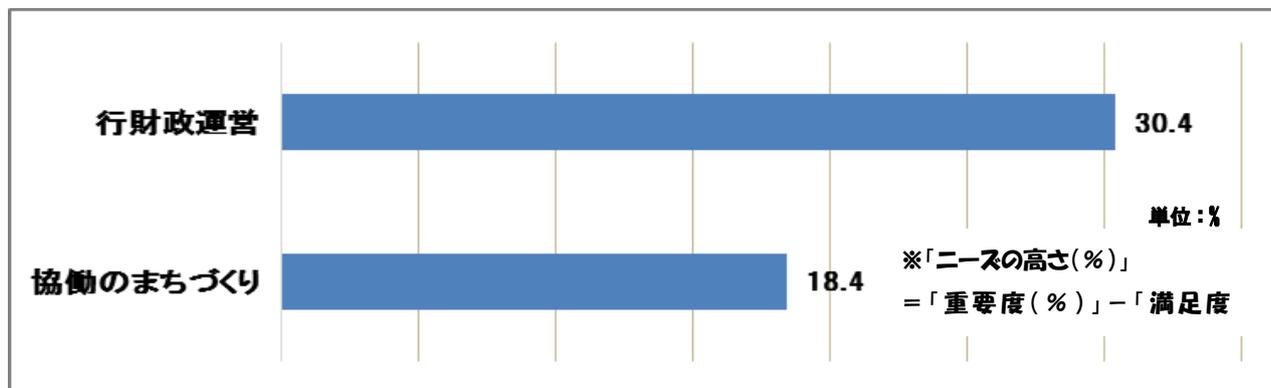
() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
① 協働のまちづくり	<p>【施策の目標】 自治基本条例に基づき、町民活動の支援や広報・広聴機能の充実を図ることにより、様々なまちづくり活動への参画を促進し、町民一人ひとりがまち主体として、自らの手で自らのまちを創るという意味を持ち、互いに助け合いながら、いつまでも安心して暮らすことのできる「しあわせを感じるまち」の実現をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民参加の促進 ・ 地域活動の推進 ・ 広報広聴活動の充実 ・ 開かれた行政の推進 	53.2% (50.3%)	71.6% (70.1%)
② 行財政運営	<p>【施策の目標】 次代を担う子どもたちに過大な負担を残すことなく、すべての町民が希望を持って生活できるよう、限られた財源や人員の中で、効率的で質の高い行政運営に努めるとともに、計画的で健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営を進めます。</p> <p>また、高度化・複雑化する行政需要に対応するため、住民の目線に立ったきめ細かなサービスの提供や職員的能力向上、近隣自治体との広域的な連携により、迅速で質の高い行政サービスの提供をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な財政運営・効率的、効果的な行政運営 ・ 行政サービスの充実・広域的な協力、連携 	48.8% (42.6%)	79.2% (78.7%)

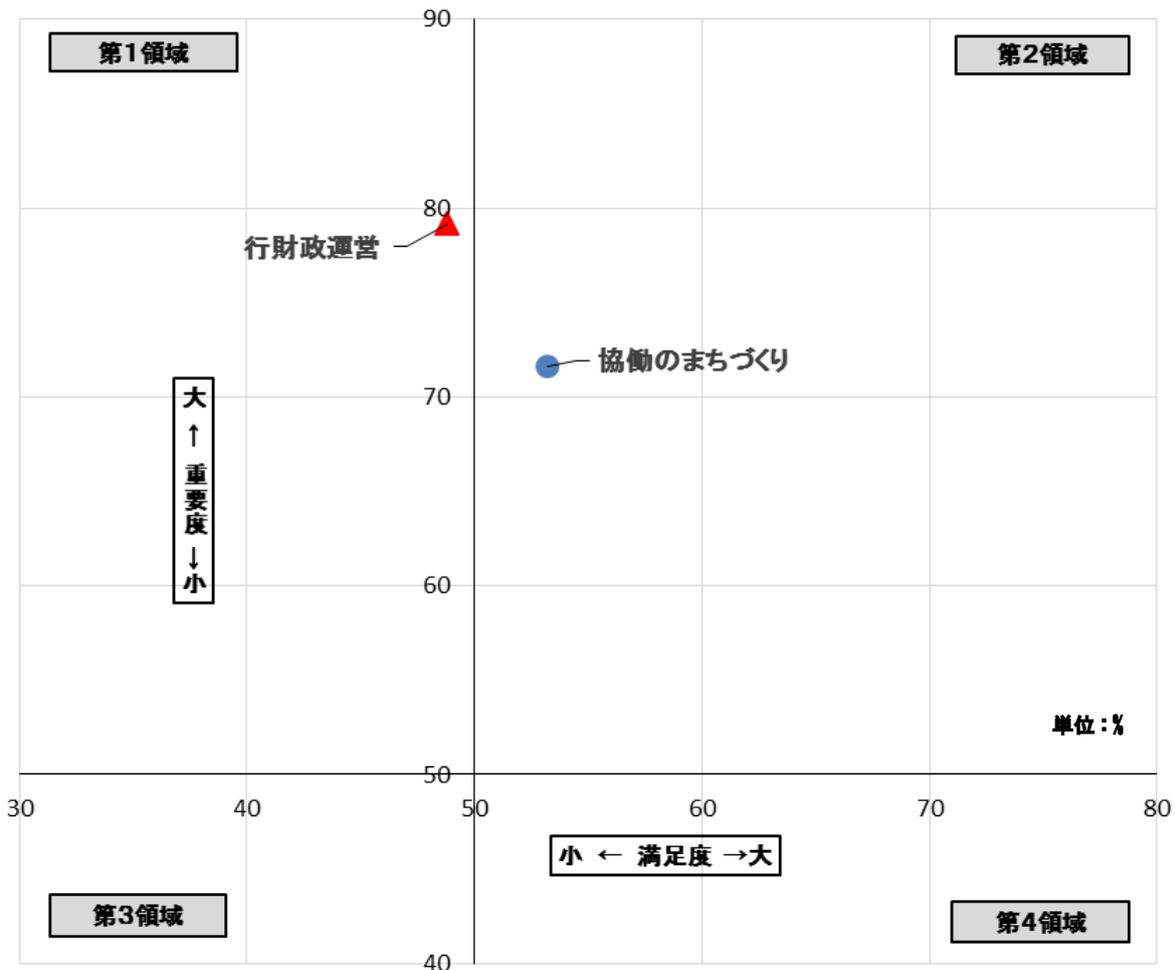
【自治】分野の施策に対するニーズの高さ

★行財政運営の満足度は高くなく、ニーズが高くなっています。

★協働のまちづくりは第2領域、行財政運営は第1領域に入っています。



「自治」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

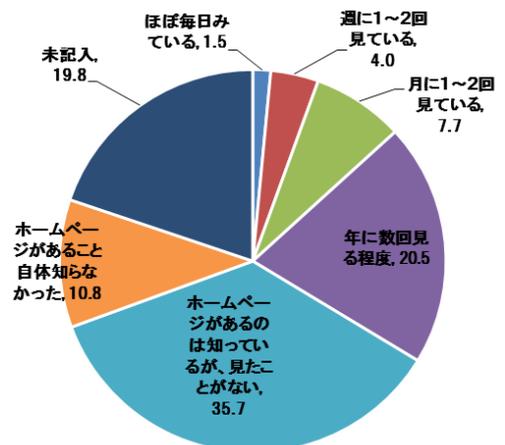
- 【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策
- 【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策
- 【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策
- 【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

問 43 あなたは、白老町のホームページを見たことがありますか。

- 「あることは知っているが見たことはない」が多数
- 「年に数回見ている」という回答も多い

・情報化社会の中にあって、ホームページやSNS等の活用機会が増えており、情報発信、伝達の方法等が変化してきていますが、町のホームページの活用状況は、やや低調であり、その内容の充実とともに認知度の向上に努めていく必要があります。

※ SNSとは・・・ソーシャルネットワーキングサービスの略称
インターネット上で情報の発信・交換・共有等が出来るサービス

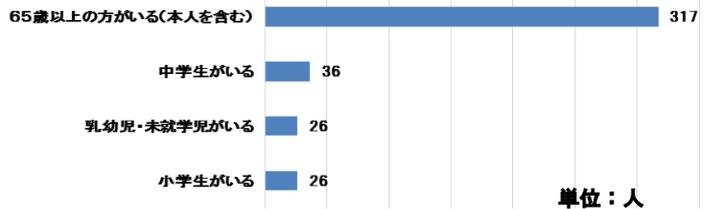


(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて

問 44 あなた（及びあなたのご家族）は次の項目に該当しますか（複数回答可）。

● 65歳以上の方がいる家族が多い

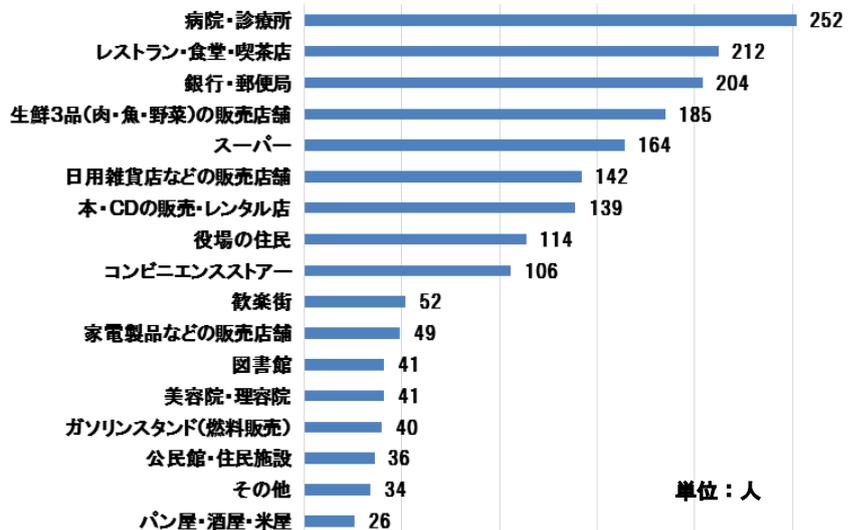
・回答者に高齢者が多かったことから、「65歳以上の方がいる」が圧倒的に多い結果となっています。



問 45 町民の暮らしを支える施設、機能が集中する白老駅周辺の拠点地区には、どのようなものが必要と思いますか（5つまで複数回答可）。

● 医療機関、飲食店、金融機関の順に多い

・駅周辺に必要な施設としては、「病院・診療所」「レストラン・食堂・喫茶店」「銀行・郵便局」など「まち・中心街」のイメージに沿った施設への回答が多くを占めました。他方、「本・CD・レンタル店」が上位となるなど娯楽や文化的な充実を求める傾向がうかがえます。

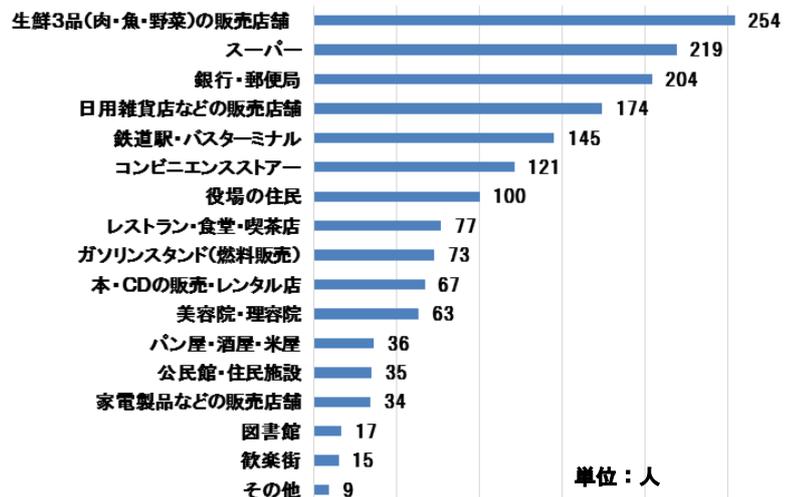


問 46 日常的な生活を支える身近な各地区の拠点には、どのようなものが必要と思いますか（5つまで複数回答可）。

● 生鮮品販売店舗、スーパー、金融機関の順に多い

・「生鮮3品（肉・魚・野菜）の販売店舗」「スーパー」「銀行・郵便局」といった生活に直接影響のある施設への回答が多くを占めました。

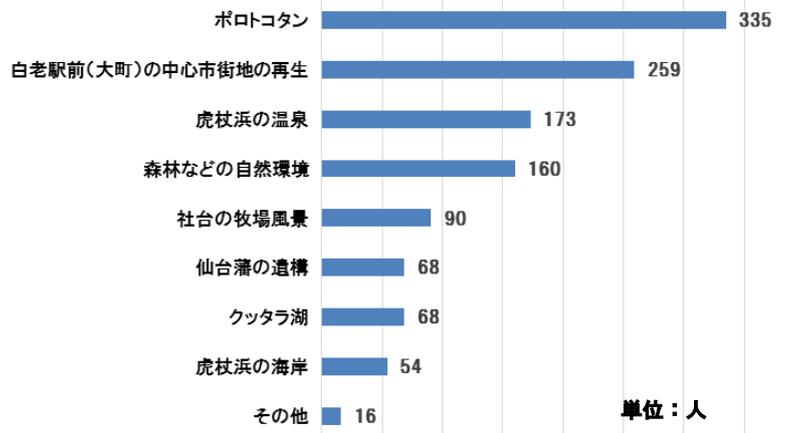
また、鉄道駅・バスターミナルなど「公共交通」へのアクセスを居住地付近に要望する傾向がうかがえます。



問 47 これからも白老町として、大切に（重視）していくべき環境的な事柄にはどのようなものがあると思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 最も多いのは、ポロトコタン
- 次に、白老駅前中心市街の再生

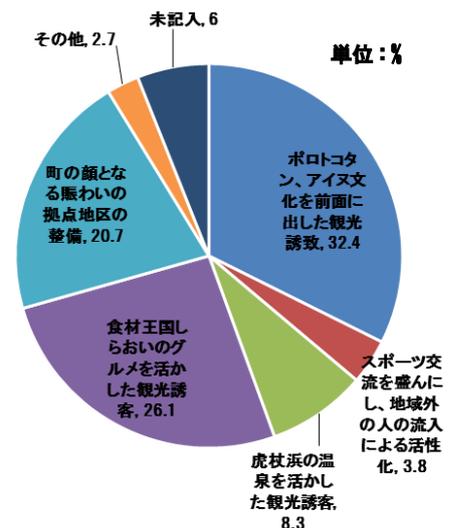
・2020年の民族共生象徴空間開設を控え、「ポロトコタン」「白老駅前（大町）の中心市街地の再生」の二つが上位を占めるとともに、「虎杖浜の温泉」「森林などの自然環境」など本町の普遍的な地域資源への関心の高さがうかがえます。



問 48 まちに賑わいや活力を創出するために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

- アイヌ文化を前面に出した観光誘客が最も多い
- 「食材王国しらおい」を活かした観光誘客次に続く
- 町の顔となる賑わいの拠点地区の整備も多い

・こちらも2020年の民族共生象徴空間の開設に対する関心の高まりを背景として「ポロトコタン、アイヌ文化を前面に出した観光誘致」への回答が最も多く、次いで「食材王国」「拠点施設の整備」といった観光施策への期待の高さがうかがえます。

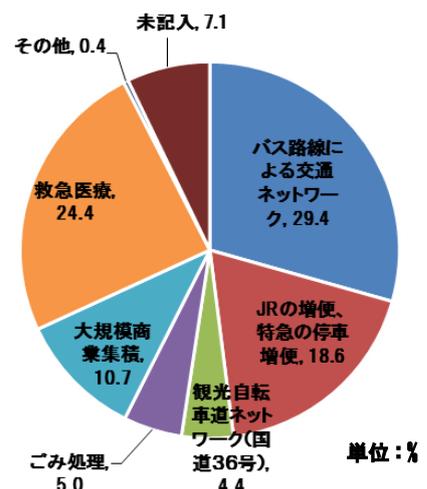


問 49 白老における暮らしを守るため、周辺の地域とどのような広域的な連携が必要だと思いますか。

- バス路線による交通ネットワークが最も多く
- 救急医療が次に続く
- 次いで JR 増便、特急停車の声多い

・「バス路線による交通ネットワーク」(29.4%)、「JRの増便、特急の停車増便」(18.6%)が合わせて48.0%にのぼり、「公共交通」への関心の高さがうかがえます。

また、「救急医療」(24.4%)の必要性も高く、全般として「暮らしの足」と「生命の維持」に関して、広域的な連携によるスケールメリット（費用減少・収益性向上）が求められていることがうかがえます。

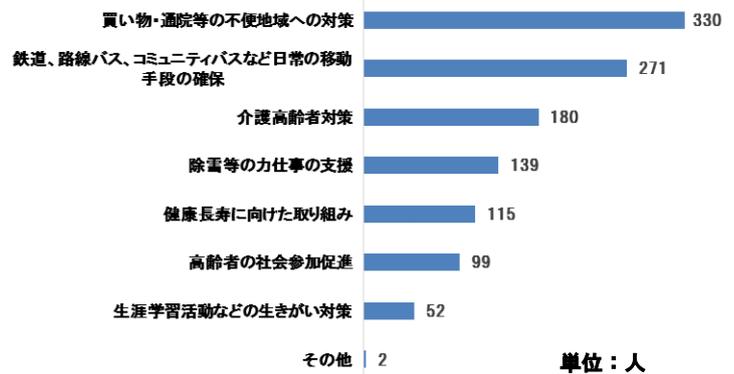


問 50 これからも進む高齢化のなかで暮らしていくためには、どのような環境の整備が必要だと思いますか（3つまで複数回答可）。

- 買い物や通院等の不便地域への対策
 - 鉄道やバスなど日常の交通手段の確保
- など移動困難の解消を望む回答が多い

・高齢化社会の進展に伴い、移動手段の確保に対する不安が増大していることがうかがえます。

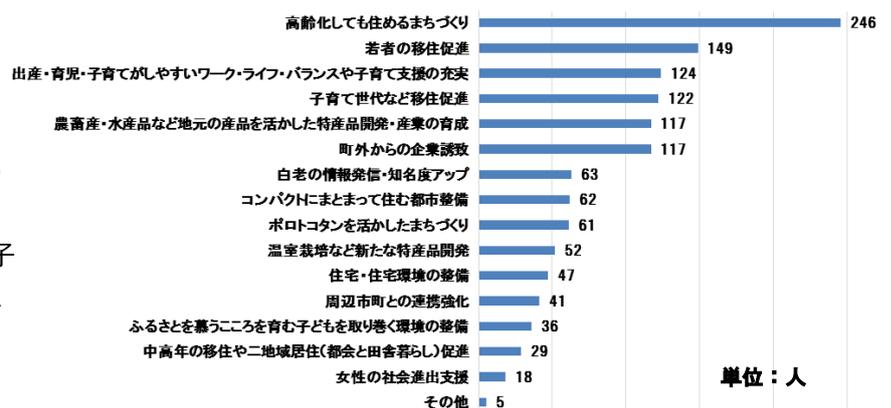
また、「介護高齢者対策」「除雪等の力仕事の支援」への回答も多く、高齢者の独居生活などへの不安が増大していることもうかがえます。



問 51 今後、町として取り組むべき重点施策分野はどのような分野だと思いますか。重要だと思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 高齢になっても住めるまちづくりの回答が一番多い

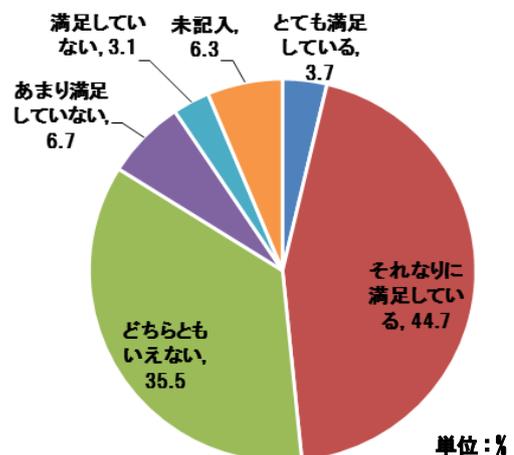
・高齢化の進展により、「高齢化しても住めるまちづくり」を求める回答が多くを占め、一方では、「若者の移住促進」をはじめ、「子育て支援」など未来を担う世代への施策展開について期待が高まっていることがうかがえます。



問 52 あなたは町内会活動に対して満足していますか。

- 「満足している」48.4%

・身近な自治活動である「町内会活動」に対する満足度合いは、約半数（48.4%）が「満足している」と回答していますが、「どちらともいえない」との回答も35.5%にのぼっており、近年の加入率の低下等がその背景にあるものと推察されます。



**問 53 白老町について、ふるさと自慢したいこと、広くPRするべきと思うことなど
(自由意見)**

【食に関すること】

- 肉・卵・タケノコ等、特産品が多いこと
- たらこ・キノコ
- 白老町のたらこ、玉子、牛肉、これだけでも北海道のNO.1です。だから道の駅を！
- 海産物・水産物がおいしい
- 白老牛
- たまご（マザーズ）
- 食の豊かさ
- とり肉・ぶた肉・牛肉・魚介類など、すべての面でトップクラスの物がそろっていると思います。
- 山菜
- 海産物はあまり知られていない（マツカワカレイ、サラガイ等）
- 毛ガニ、生鮮魚・野菜
- 白老町の水は本当においしいと思う。

【自然・動物に関すること】

- 自然、海あり山あり森あり温泉あり
- 初夏から秋にかけて山菜とり、川で鮭が飛びはねる姿が見られ、林に森緑に囲まれこんな素晴らしいところはないと思う。自然を満喫出来るところ。
- 夏にホテル観察が出来る（仙台陣屋、ポロトキャンプ場）
- 山、海、川、湖、森林 これだけ自然に恵まれた町は他に有りません。
- 海と山に囲まれていること。
- 温泉と湖と海と川と森！そして水が美味しいです。
- 地熱
- 白老町の美化を自慢したい。草だらけの町は、見たくない。
- 海も山も綺麗。
- 竹浦・森野周辺の森林公園の空気は素晴らしいと思います。
- 海あり山あり里山あり、ウォーキングが楽しい。
- 浜辺のオーシャンブルー
- 馬
- 牧場

【文化に関すること】

- アイヌ文化
- ポロトコタン
- 国立博物館ができることは白老町にとってすばらしい自慢になると思います。

【ひとに関すること】

- 人がやさしい。役場の方の言葉遣いがいい!!

【温泉に関すること】

- 温泉が身近にあり心穏やかな生活ができること。
- 温泉付き住宅はエコでとても良いです！！
- いつでも温泉に入れる
- 温泉が家庭内で出ること。

【行事・イベントに関すること】

- 白老牛肉祭り、白老港祭り（花火5000発）

【気候に関すること】

- 冬期間の雪が少なく過ごしやすいこと。
- 夏暑すぎず、冬寒すぎない気候。ただし雨量注意。
- 高齢者が多く住む町全道3位と聞きましたが、冬の生活で雪が少ないのが1番という人が多い。
- 夏は涼しく冬は比較的温暖で降雪量少なく老人が生活しやすい
- 風・雪・水害少ない
- 四季を通じ、白老町は（北海道のなかで）冬は暖かく、夏は涼しく住みよい町です。
- 春から秋が長く住みやすいです。

【自治・暮らしに関すること】

- 豊かな町なみ
- 静かでいいところである。
- スローライフを実感できる地区だと思う

【福祉】

- 町内にある授産施設は対応が良く、町外の方から人気だと聞いています。福祉に力を入れている健常者も障がいのある方も暮らしやすい町という一面があると思う。
- 福祉関係（温かさ伝わる町）

【港湾】

- 大型船が入れる港があること。

【交通】

- 交通の便がよい
- 札幌へも通勤圏
- 温泉があり、雪が少なく暮らしやすい。ただし車が運転できる間のみ。

【その他】

- あるべきものはほとんどあって、余計なものがない。「足るを知る」くらしができる。
- 今まで通りで良いと思う。
- 白老の戸田町長がイケメンでかっこイイ！優秀で、白老のために死を覚悟している情熱を感じるころがステキです（なんちゃって）「人権の町 白老」「アイヌ文化から学ぶ、知恵と命の恵」
- 町民の自発的活動が多く見られること。
- 土地が安い

【PRすべきと思うこと】

- 白老町は漁業が発達している事をもっと広めるべき
- 地元食材のPR
- 白老町の特産品のPR
- 自然景観の発掘、歴史（白老町の）遺産のPR
- かに御殿は観光客が多く良いと思う。温泉をもっとアピールしてほしい。
たらこや海鮮、牛、卵などはこれからもアピールしてほしい。
- クッタラ湖やポロト湖、白老川上流の景観など人が来やすい整備をして自然観光をアピール。
- 地元の特産品を町外に向けて町長がトップセールをして花の町白老町を広くPRすべきと思う。

- 滝の多い町のPRを強化すべき
- 温泉のPR、ポロトコタン、アイヌ文化のPR
- ポロト温泉の様に色の濃いモール温泉は道内でも数が少ないので、もっと広くPRしてほしいです。利用する施設もほしい。
- 黒毛和牛を育成してきた歴史
- 民族共生象徴空間
- アイヌ文化を伝承・発展させてきた白老町の産業の歴史
- クッタラ湖の水質はPR不足だと思います。観光化して水質保全できなくなる可能性は否めませんが、それならそれで、看板出すなりあると思いますし、観光化しなくても水販売しながら保全はできると思います。
- 地場産業をもっと広めてほしい
- 漁業・畜産及び特産品の知名度アップのための情報を発信する。

<期待・改善>

- 交通マナーを守ってほしい。
- 2020年白老ポロト湖畔に国立アイヌ民族博物館、共生公園などができ、世界的にも広がりが見える気が。来町者も外国人が多くなる事を踏まえ、大変な事でしょうが、アイヌ文化の創造発展の為、頑張ってください。
- アイヌ国立博物館ができる。白老と国際関係が多くなるように白老に期待します。
- 白老には多くの特産品（タラコ、しいたけ、牛肉）等々あります、もし道の駅ができれば全道はもとより多くの知るところとなるでしょう。
- PRできる自慢がなさすぎ。
- 現時点ではPRすることはありません。
- 地元の特産品を住民は安く手に入れることができたらいい。
- ポロト湖の水源の一つでもあるポロト奥の樽前山系の伏流水が湧き出ている所を、京極町のふき出し公園の様に利用できないか。
- JR白老駅を直し、特急の停車を（日中部分的に）
- ネコ、シカ、カラスを少なくする。エサやりをやめさせる。
- 白老牛や虎杖浜たらこだけではなく、もっと幅広い食材のアピールと食品開発
- しいて言えば温泉だけ。
- 広大な土地を利用した企業誘致やリゾート地の開発
- もう少し交通の便が良ければ住みよいと思います。
- ヘソのある町にすべき
- 白老港における観光客船の入港促進
- 温泉を生かした産業はないものなのでしょうか。

<思い・想い>

- 転勤者がこれだけ多いのに、交流を深め、去る時には惜しまれる---そんな町です白老は。人懐っこく、町外からの人を受け入れてくれます。転出したけど時折、白老に顔を出してくれる人がたくさんいます。転入してきた知人が「店の数より知人の数」と言っていました。狭い地域だけに人づきあい、結びつきは濃厚です。コレをどのように町の活性化に結びつけるか難しい所ですが、「住むからには、損はさせない白老は」と言ったところでしょうか。
- 個人個人は、それぞれに生き方を変えることなく暮らしていると思う。行政がその中に入って行くことは無理だと感じる。一番基本の町内会そして班活動、隣近所の方々との交流それから発展するものだと感じる。しっかりとした町を作る---と思う。大きなことを立派な言葉で並べ立てることより、小さな単位でコツコツとやるのが、大きなところにつながっていく---と感じています。
- 景色、撮影出来る美しい自然があります。どうぞいらしてみませんかのお誘いでおいしい食材もありますのでどうぞ食して下さい。とか行ってみたいという気持ちにさせる、来て見て欲しいと発信する。

例えばドラマの風景に適している。コスプレの風景の紹介など。

●移住して 16 年になります。食も豊富で、自然豊かなこの町は素晴らしいと思っています。ただ働く場所が少なく、子どもも他市へ行ってしまいました。

●温泉に入り、土いじりをし、美味しい食材を料理する。この日常を東京住人や、海外から来る友人に見せる。生活そのものを見せるだけで、満足してもらえる。きれいな海や山に連れて行くだけで感激してもらえる。白老はそんな所が素晴らしいのだと。この 2・3 年、北京・上海・東京から来た、友人・知人・家族の接待は、虎杖浜で一緒にニジマスを釣り、フライ・刺身・寿司を作り、温泉に入る。自宅をあけて 2～3 泊してもらおう。白老牛のバーベキューを自宅庭で（家庭菜園の野菜とともに）する。ポロトを自転車であぐる。カヤックにも挑戦する。

(6) 分野ごとの自由意見

【生活・環境】 分野に関する自由意見

<交通安全・防犯に関すること>

- 町内での火災や事故等が発生した時放送網等で知らせてほしいです。

<防災に関すること>

- 海、山のある地域、人が考える3倍の災害的に必要な資源等が必要となることを、他市町村への応援を早急にできるかだと思います。
- 避難場所はあるが公園の場合など、避難してからの対策がない。例えば冬の夜など
- 水はいつも買って置いています。
- 災害発生時（特に津波）の避難場所への経路が整備されていない。
- 国道に出るまでの道路が一本だけなので災害時不安
- （災害・避難の件に関して）地区全員が分かる様お話し合いみたいな事してほしいです。地区内あまりにも情報がない。80才以上の者です。
- 皆さん、災害や緊急時の備えはある程度準備していると思いますが、問24・25の事などは詳しく分からないと思います。町内・公報などでも出して、教えてほしいと思います。
- 各小学校や中学校などで1年に1回キャンプ（野外宿泊学習）をして避難時の最低限の知識を習得する機会があると良いと思う。

<治水・海岸保全に関すること>

- この頃大雨による洪水が多いですね。近くにフシコベツ川がありますが、以前十二間の川が氾濫し、災害対策として作った川ですが、最近大きな木や草が生え、また大雨が降った時、役に立たず氾濫するのは…と心配しながら通っています。付近の人に協力してもらって、業者+ボランティアで木を切ることはできないものかと思います。木が大きくなるまでほったらかした…と言う事で大変な事ですが…。
- 台風や大気が不安定な時、高波がテトラポットを超えてくるようになってきた。北のランプ亭付近に住まいの方は、近い将来住めなくなる可能性もあり、早急な対策が必要です。
- 災害に対する備えをもっと重要視してほしい。特に河川が多いので川の氾濫対策に重点を置いてほしい。

<ごみに関すること>

- ごみを減らすには、なるべく小さなゴミ袋があったほうが意識が高まると思います。雑紙の範囲が広がり、燃やせるゴミがかなり減ったので、指定ゴミ袋ももっと小さなものを販売してほしいです。札幌に住んでいたころは、5ℓや10ℓのものを使っていました。
- ごみを捨てる時に、何ごみか分からない時、白老町に住んで最初にもらったごみを捨てる時の表を利用しています。ですが最近、ビニールはあれ、紙はあれと分別の種類が増えたと思うので、もう一度新しいものを配布とかしてもらえるとありがたい。
- 白老川付近にまだまだゴミを不法投棄されているのが気になります。
- 世帯人数が少ないので20Lでは溜まらず夏場は生ごみが臭い。5Lもしくは10Lのごみ袋をつくるか生ごみを回収する日をつくってほしい。
- ゴミの分別は高齢者には大変すぎる。
- ゴミの回収について、ペットボトルの蓋があるだけで回収していかない。そのくらいは回収してもらいたい。
- 町内会で、ペットボトル・ビン・缶・紙・段ボール等すべて回収して、白老町が回収ポイントを出して、何か町内会で楽しめる事があれば…どうでしょうか？白老町の方からカンボジアなどに寄付するとか。集めた人達もボランティアの仕事してくれませんか。
- 我が町内はゴミ集積所が遠すぎる。白老町内には各戸にゴミ箱がある地域があるのに。
- 白老港の周りが汚い（廃材・ロープ・空き缶・網・ブイ…）

●私は船員をしています。普通の仕事では誰でも知ることができない仕事なので、ゴミ捨てやその他、普通ならできることができない。このような特別な仕事についていることをわかってほしい。

<環境保全に関すること>

●いつの間にか山が削られていてショック。雑木材をなくし太陽光パネル設置、どちらが環境に優しいのか？

●海岸はゴミだらけ、護岸で固めてしまう、流れをかえてしまうでは、他市町村と同じです。50年前の自然のままの美しい海が見られるだけでも人は集まります。白老港にできかかっている、砂浜の場所を大切に！排水？汚水？がしみ出して、海に流れ込むのは良くありません。

<公園・緑地に関すること>

●自然公園（特に虎杖浜地区）がなく自然のすばらしさが体験できない。

●子供を遊ばせられる環境が少ない。公園がない。

●公園の充実が必要、子供が安心して遊べる公園がない。

●公園・緑地は各町内会などが整備しているようだが、役場前を、花などでもう少し明るくしたらどうか。提言ばかりしていないで、自分たちも活動したほうが良い。

<土地利用・住環境・移住促進に関すること>

●3年前、白老に移住したときから感じていること、汚い町だなあ-という印象です。空き家が多いのと、その空き家があまりにも汚い・・・なんかならないものではないでしょうか？

●高齢化が進む中、空き家も増えているので、若者が住める戸建ての借家として提供すればと思う。

●安全、景観、その他の理由で空き家の取り壊し等抜本的に解決してほしい。

●ボロボロの空き家対策を早急にやってもらいたい。非常に危険だと思うところが多すぎる。住宅整備も必要だけど、まずやらなくてはならないのはそこだと思う。

●外灯が少ない場所には外灯を設置してほしい。

●公営住宅の整備と、若い世代や子育て世代が入居しやすいように料金も低めにしてほしい。

●東神楽町のように子育てしやすい町にすると移住促進につながると思う。

●勤めている方々が地元の方より他の町の方がいますが、これから働く人がいないのであれば、町営住宅を作って移住して頂いて住民税なども町に入るように考えたら～と思いますが！

<温泉に関すること>

●竹浦・虎杖浜の国道沿いの温泉を活性化してほしい。

●白老には恵まれたところが多いのに、その1番町民が助けられている、安い料金で入れる温泉が次々と閉鎖されて行くのはとても残念です。外部から人々を取り込むためにお金をかけて、町民が気持ちよく感じている温泉がなくなって、町民の健康に良い温泉をなくして！もっと町民ファーストであるべきだと思います。

<上下水道に関すること>

●水道料金が高すぎる。他の町から引っ越してきたが驚いた。

●他地域にくらべて上下水道が高い。

●水は冷たくて美味しいけど、水道代が高い。

●下水道について 曝気槽のMLSSについて 3000~5500 に保てるように SVI が 80~120 におさまるように、バルキングにならないように、調整槽の安定のため、糸ミミズの飼育・尿素（農協用）の定期的投入（1~3 kg）/週 余剰汚泥は脱水プレスは、フレーク錠にしてゴルフ場（ポロト）などの芝生の目土や、山手ゴルフパークの芝生の目土に利用すればいいと思うのですが..。

●上・下水道等、古いものからみなおして行ってほしい。

<道路に関すること>

- 国道（萩野駅あたりから白老方面に向かうところ）ひび割れの為なのか走りにくい。
- 管轄は違うのかもしれないが、国道のゴミが多すぎる。
- 脇道のデコボコ路面何とかならないか。
- 道路が部分補修ばかりでガタガタ
- もう少し全体的な道路補修をしっかりとってほしい。

<公共交通ネットワークに関すること>

- 交通が不便
- 病院、買い物、工大通学等にバスを利用しているが不便全町民が自由に利用できるような時間的配慮が必要。他市町村も参考に。
- 公共交通の不便さ。タクシーの利用ができない（時間が制限されている）。
- 何するにも交通手段の確保だと思う。広報を見て参加したいと思っても、元気号と時間が合わなければどこにも行けない。見学会や外での活動は日曜日が多い。元気号を日曜日でも運行して欲しい。
- 高齢者達が免許を返しても安心できるような店や病院までの交通機関の充実。
- とにかくバスの運行本数を増やしてほしい。虎杖浜から登別まで1日4本は少ない。しかも、220円ではなく100円くらいにしてほしい。
- 公共交通を充実してほしい。
- 体育館である運動にも参加したいと思うが交通手段がない。ボランティアにも参加したいと思うがこれも交通手段がない。

<除雪に関すること>

- 冬になり雪が積もると、うちの庭に除雪車が近所の雪を集め大量に置いて行きます。雪を置いて行くのなら固定資産税を割り引いてほしいです。
- 突然の大雪時の除雪開始時間が遅いので外出、通院が出来なく大変困っております。

<環境美化・衛生に関すること>

- 飼い犬・猫の糞に困っています。
- 早く水洗便所にしてほしい。
- 町の美化は全ての事に通じる。
- 猫・ハト・カラスが気になります。ヨコスト湿原に大型ゴミが捨てられていて、いつのまにか元ドライブインがゴミの業者になってしまい、悲しいです。ヨコスト湿原にも、観光白老としてもイメージが悪いと思う。早くドライブインを町が買い取るべきだったと思う。
- 猫のふん害が絶えず困っている。
- カラス、ネコ、もう少しへらして下さい。ネコのフン、カラスのなき声フン悪い事ばかりしています。野菜へのいたずら。
- 環境等に関し、広く行政関与し指導及びボランティア活動の参加等、理解を進める事が必要と思う。町内会活動に依存する面が多々見受けられる！！
- 住まわれていない家や空き地の管理の指導をすべきで、2020年に向けて徹底していただきたい。廃墟と化した家は取り壊す補助をするような指導をしてほしい。住宅に隣接する土地には除草剤まくことを禁止して、草刈を徹底する。
- 雑草の伸び放題見苦しい。
- 水産加工に伴う悪臭に悩まされています。徹底した指導を希望します。
- 衛生的町づくりを。
- 竹浦・虎杖浜地区の36号線沿いの廃屋、今にも倒壊しそうな家屋は、白老のイメージダウンになっている。

<地域情報化>

- パソコンも使えず、白老を知るのは広報のみなので、よくわかりません。

<全般>

- 問 24、25 に対し P R コーナーイラストあればありがたい。
- 各項目に関しての実感があまりないのでよくわからない。(現在何をどのようにして、どのようになっているのか?)

【健康・福祉】分野に関する自由意見

<医療機関に関すること>

- 病気になった時、この町では安心して医療を受けられる場がないと感じている。
町立病院の対応は決して良いとは言えない。
遠くまで通院できる手段があるなら、できるだけかかりたくないと思っている。
- 病院の新築も大切ですが、それよりも職員の方たちの患者に対する接し方が大切と思います。
- 風邪くらいの病気なら町立病院。町外の病院にかかっています。他は安心して行く事ができません。
- 町立病院の入院を廃止し、外来のみのクリニックにすることも必要ではないでしょうか。
良質な医師の確保にもつながります。
- 町立病院にて循環器や脳外、産科など週 1 回くらいでも診療体制があればよいと思うが。
- 町立病院は個人病院ではないのでちゃんと機能して欲しいです。
診察できる科が少なすぎて、結局他病院に回されるので紹介状をもらいに行くだけの場所になっていると思います。
- 産婦人科が無い白老町では安心して子どもを産み育てやすい環境にあるとは思いません。
- 医療サービス維持・向上 (小児科・内科・できれば皮膚科はあってほしい)
- 産婦人科や小児科の医者がいない町に住みたい!とは思わないと思います。
あと病院のスタッフが不親切というか、感じの良い方じゃないという話しか聞きません。
- 医療機関が不足している。
- 医療過疎地に、人は住まないよ。
- 高齢化にむけて町立病院の充実は重要である。
- 町立病院の充実を図る。

<子育て支援に関すること>

- 子どもを産んで育てる母親に、もっとしつけの仕方や費用の面での助けがあれば?白老町の人口が増加するのでは?
- 子育て世代は過ぎてしまった為、現況を詳しく知らないのではわからない!!
- 環境が変わったのですが 20 年前は子育てしやすくとても良かったです。
- 子どもの医療費は 15 歳くらいまでは無料にしてもらいたい。それが実現されれば、子育て世代の人口は確実に増えると思います。
- もっと経済的支援があれば子供を 1, 2 人欲しいと思う。
- 子供の医療費補助を未就学児までではなくもっと広げてほしい。義務教育までずっととか。
- 子育てをする環境になってきていると思います。
- 親子で利用できる施設などがあるといいと思う (遊ぶ施設)。
- 子育て世代から見ると、高齢者の方への支援はたくさんあるのに、なぜ子育てに関しての支援は無いのだろうと思います。もちろん高齢者の方もああしてほしい、こうしてほしい、というのはあると思いますが、例えば保育料を年少~年長まで無料とするだけで、白老に留まろう、もしくは旦那さんの仕事は白老だけで子育てで支援が充実していないから住むのは苫小牧で良いやという方は減ると思います。実際にこう言って引っ越していかれた方をたくさん見ました。

<結婚支援に関すること>

●「結婚希望の実現」というのは、意図が良く読み取れません。白老町在住の男女同士で結婚させるのがベストなのですか?若者でも例え定年後に白老に移住された方でも年齢に限ることなく町に住んでくださる方は「宝」ではないでしょうか?「子孫を残す」ことを目的とした政策は、一住人としても受け入れ難いし、自分の子にも薦められません。

<ひとり親家庭支援に関すること>

●母子家庭・正社員でシフト制の為、土日関係なく働いていて子ども2人をこども園に預けているが、保育士不足で土曜日月2回の預かりしかしてもらえずとても困っています。ひとり親の土曜預かりを優先的にしてもらえる様に改善して頂きたいです!!

<障がい者福祉に関すること>

●障がいを持っている人を優遇しすぎでは。喫茶店で夕食、昼は出前、病院等送り迎え、ホテルに泊まってよさこい見学、果物狩り、野球見学等趣味にお金かけ放題、周りに居る誰より裕福な暮らしと感ずます。ある家族は障がいを持った子3人おり父母は程々の仕事につき1週間に2~3回外食(親だけの時もあり)1晩で2,3万円使い新車を買ってそれらを得意げに披露高齢者が置き去りにされています。

●自分自身障害者ですので自分がどうすべきか考えていますが、本当は皆様にお世話かけずに、と常に思っています。

<高齢者福祉に関すること>

●高齢者は、かなり支援されていると思う。自分も高齢者なのでありがたいと思っているが、あまり支援しすぎると当たり前になってしまい「おんぶにだっこ」にならないようにしないと。

●高齢者のゆくえについて、健康年齢が保たれている時期までは意欲のある方は色々な事に参加され楽しめているようですが、体調が崩れてくると老老介護があり「~をしたい」と思っても親が超高齢で介護を高齢者の子どもがしている現実とか、健康で好きなことを出来る高齢者の割合は例えば60~68歳~70歳。現実を把握できているのか疑問に思えます。団塊の世代の高齢者問題で一時期混乱が生じる事が予想されますし少子化より大変で手がまわらなくなる事も予想されます。住みよい暮らしが出来るのか不安を感じます。

●介護保険制度の要支援者のサービスについて、白老独自のサービス提供に期待したが、今までどおりであったことが残念でした。要支援2の場合、通所回数を1回と2回を選ぶことができ、1回は3000円のセット料金、2回は6000円のセット料金と利用料金も変えることができると良い。

●健康福祉 高齢者にはよくいろんな事を聞かされます。例として、バスの時刻表の字が小さすぎて読めない。JRもバスも全てそうですが、ひざの曲がりや痛みもあるし、一人暮らし、この間はJR白老駅の階段10分以上。糸井駅で降りてタクシーでホクレンショップまで行き、タクシーから病院まで歩きました。タクシーさんもホクレンさんもお年寄りを大切にしてくれています。苫小牧はいろいろなところで大切にしてくれていますが、白老はなくなってきましたね。子ども達を育てるのは年配=先輩なのだから、大事にしてはいかがでしょうか。

●高齢化が進み、家から出ない人が多くなりました。外の光を浴びるような生活になればと思います。ネットワークづくりや、支援要請をまつのではなく、訪問を多くしてほしいと思います。

●高齢者の孤独死対策による在宅ケア等の充実と認知症や生活ケアの必要性

<全般>

●白老町健康や福祉への取り組みを知らなさすぎて何も言えない。そういう取り組みの情報はどこで知るのでろう。

●少子高齢化の対策

●高齢者の生きがいなど、個人でまったく変わらぬと思う。生活が苦しい人にもう少し手を差し伸べてください。

【教育・生涯学習】分野に関する自由意見

<保育園・幼稚園に関すること>

●幼稚園年長児の無償化はとても助かります。しかし、前もっての説明は必須です。説明を求めても園に丸投げ？とも取れる対応が一部であったとも聞いています。これは決定事項に従うだけなので「説明」は充分にお願いしたいです。

<小学校・中学校に関すること>

- 子供の教育は必須であり、これからの白老町を担う子供や若者の育成が一番大事だと思われる
- 教育…小学校の各校統一・中学校の各校統一 人間形成・学力向上のために絶対必要！！
- 子どもたちに教育をしっかりしてほしい。所得によって教育の格差があるならば、基本的な学力だけでも学校でしっかりつけさせてあげてください。
- 白老小学校・中学校に通っていましたが、恩師と呼べる人には出会えませんでした。以前同級生の結婚式で、中学時代の担任に大人になって会う機会があったが、悲しい気持ちになりました。そういう教師はこの街に多い気がします。10代の頃は学校というコミュニケーションの場しかないで、大事な成長の時期に出会う大人の影響力はかなりその後の生き方に関わってくると思います。のびのびと個性を出して生活できる開けた環境が必要だと思います。
- 小学校の早い段階から英語教育を行うと良いと思う。インバウンドに対し子どもが対応することでまちのPRや子供達の自己肯定感の確立など様々な効果が考えられます。
- 中学校の風通しが（生徒対先生対保護者の）悪すぎる。学校アンケートなどがきて書いて提出してもそれっきり。改善や工夫の努力がみられない。

<社会教育に関すること>

- お金がないのはわかるけど、図書館が貧弱すぎる。書店もない。浦河は小さな町だけど驚くような立派な図書館がある。毎日でも行こうと思う。白老は必要な時にしか行く気になれない。
- 社会教育分野は、1人1人の自己責任で価値ある生き方を模索すべきと思う。図書館の活用方法もっとフレキシブルに、例、飲食可、図書の一部（雑誌等）は消耗品。図書館をベースに若者文化（音楽会、詩の朗読、演劇等）をつくる。日本にないものを白老でつくる。Only one。
- 文化的な施設が欲しいです。パイプ椅子ではなくゆったりと出来る。

<民族共生・アイヌ文化に関すること>

- アイヌ民族ありきの政策、観光は長く続かない。町民全体の意思だとは思わない。もっとすべきことがあるはず。
- アイヌの特権が色々あると聞いている。それなのに、この町はアイヌだけなのか。シャモはどうでもいいのか。置き去りにしてアイヌのことばかり、どうなっているのか。他都市から引っ越してきてみて、あまりにもアイヌのことばかりに気を使いすぎていてうんざりする。だから白老町は発展しない。あまりアイヌのことで騒がず自然の流れの中で生活させてほしい。アイヌが苦労したのは昔のこと。今は平等に生活しているはず。アイヌばかり恵まれた生活は嫌気がする。
- アイヌ民族博物館が何度も訪れたいような場所になってほしい。白老町民であればみんなが知っているようなものを作って欲しい。
- 象徴空間の中心となっている役場の職員が、本当にアイヌについて理解しているのか疑問がある。
- アイヌ民族共生象徴空間…町民には何のメリットがあるのか、理解できない事があります。もっと以前にしないではいけない事、子供達が利用する通学路の見直し補修など一部分だけお金をかけているのが不満です。
- 極稀に外国人にポロトの道順を聞かれるため、できれば残していただきたい。

<スポーツ・レクリエーションに関すること>

- 誰でも気軽に参加できるスポーツのイベントを開催してほしい。

- 白老町のマラソン大会以外に他のスポーツ大会も開催した方が良いと思います。
- スポーツ(体育館・プール)に行きたくてもバスが不便で行けない。
- 体育協会は組織として機能していないのでは?何の仕事をしているかわからない。ゲンキングの説明など何もない、資料もない。数いる職員が何をしているかさっぱりわからない。スクールバスの利用範囲を広げてほしい。また、全町統合でスクールバスを出した方が税金がかからないし子供達も人数が多くなって良いと思う。少ない人数に対していちいち施設、学校職員にお金をかけるほど豊かな町ではないはず。
- うちの孫曰く、白老には何にもない。子供にも大人にも魅力のある町、もう少し遊べる所、アスレチックやボルタリングなどあったらいいなと思う。

<姉妹都市・国際国内交流に関すること>

- 社会人を対象にした国際交流の場を作ってほしい。
- カナダ、姉妹都市など、特定の人だけ楽しんでいるように見える。少し考え直してもいいのでは。
- ケネルとの交流事業がなくなったのはとても残念です。この先海外と交流する機会がなくなれば、学校で英語教育に力を入れたところで身にはつかないと思う。経験して興味を広げなければ、多文化に対する理解は深まらないし、言語も中途半端な受験対策程度で終わってしまう。
- 自身が1番努力が足りず、語学力もまったく無い国際感覚ゼロ人間です。そんな中ポロト公園が「人権」という旗を世界へ向けてかかげる2020年がもう目前となり、ゼロ人間はただただオロオロしております。そこで世界からのお客様をお迎えするスタッフが、他地域の国際感覚100%の人材が働くのならちょっと悲しいです。100%人材を、この白老から生み出すことが出来たら、白老の教育力は「満足」となるのでしょうか。

<人権・男女共同参画に関すること>

- 白老町は人種を重んずるすぐれた町です。教育とはまさに人種です。

<全般>

- 教育・生涯学習について、満足も不満もないというかわからない。白老で子育てをするメリットをもっと発信していくことも必要かと思う。
- どの様な生涯学習が実施されているのか情報等が少ない。コミセンが中心となっているようですが各地域にもそのような場所を提供してほしい。
- 白老は自然に恵まれているのですから、子ども達がもう少し外で遊び、山野に接したらと思います。スマホ・ケイタイデンドは流行とはいえ悪いですね。又、本屋さんがいないということは、さみしいです。
- 今の時代「我さえよくば!」という変な個人主義が多々見られます。他人への思いやり、優しさ、いたわり等々。知力や学力以上に大切な事を学校ばかりでなく、一番大切な家庭(親子)から育ていけるよう行政としても関わってほしいですね。(例えば広報にそういうコーナーをもうけるとか…)
- 子供の習い事の一覧を作ってほしい。
- 長い間の生活体験で得た知識、潜在能力を有効に活用していないと感じる。

【産業】分野に関する自由意見

<産業連携・地場産品に関すること>

- 東京、大阪、名古屋、福岡に白老レストランを作るべき。
- 恵まれた自然環境と多様な食材を使ったレシピの開発を行い全国に発信してほしい。牛肉祭りも雨などに左右されないテント村(自衛隊のテントを使う)を作ってイベントを行ってはどうか。
- 水産業のブランド化をしてほしい。
- 卵は利用させていただいています。白老バーガー、ベーグルなどタラ子どこにあるかあっても高くて我慢のものです。味も知りません。白老ブランド対策は弱いと思います。
- 食のブランド化は生産者自らが積極的になるべき。行政主導では成立しない。
- 卵やしいたけはまだしも、牛やたらこは高い。ハンバーガーも一度買えば十分。地元が喜ぶ値段にして

欲しい。

●わかりやすい場所（国道沿い等）に道の駅等の商業サービスを建設し、地場の食材販売や食材を利用した商品を販売したりテイクアウトしたりできるような商品を販売していくと立ち止まる人が増えると思う（パンフレット等にしておけば白老町PRもしていけると思います）。

●最近ネット環境さえあればどこでも働ける仕事が増えている。（web デザイナーなど）インフラ整備がしっかりしていれば、フリーランスの若者がもっと移り住んでくれるのでは。

●白老牛はかなり知名度が上がっているが、それ以外はそれほどでもない。スイーツは集客力があるので、卵をもっと活用していけたらいいと思う。

●白老牛→高価。「晴れの日」の食材 ベーグル→注文後の製造などで、のぼり以外で目にする機会が少ない。存在を忘れてしまう…。牛肉まつりも町外者の参加が多いように、スポンサーがいない限り子育て世帯は牛肉には日常的に手は出ません。美味しいには重々わかっているけれど…町内に住んであまりメリットを感じません。

●白老牛は高すぎませんか、まだ一度も食べたことがありません。

●町民に白老牛の格安の販売が必要、年1回くらい。

●食材王国白老などと言われているが、日曜日友達が遊びに来て飲食関係の店がほとんど開いていない。

●地域ブランド商品は観光客向けであって、町民が日頃食事に取り入れて暮らせるものではないと思える。地元の味という感覚がうすい。町外に行くと人から「白老は美味しいものが〜」と言われるが、さほど身近な食材にはなっていない。

●ブランド品、とり、しいたけ、たらこ高い。特に白老牛は高すぎる。

●白老牛やたらこはTV ショッピングなどで出てたまに見るので、今後も地域ブランドをアピールして頂きたいと思う。本や服、CDなどは町内で選んで購入できない。しいたけなど、もっともっと活力あるよう町と協力して、元気な白老にしていきたいと思えますね。

●個人から見ると白老牛、たらこは地域ブランド品として有名だと思いますが、地方からドライブがてら買い物（牛・たらこ）に来て個人の販売所が多く、どこで買っているかわからない。町全体で考えた販売所（買・食）を1箇所にとめた販売所が必要だと思います。参考に〜伊達の道の駅、年間140万人来場するそうです。

●毎日の食生活は、ほとんどスーパーくまがい生協での買い物です。白老牛や白老の産物をもっと安く買えると良い。特に白老牛は高い。

●野菜直売所があれば便利で賑わうと思う。

●どのブランドも天候と関連している分野が多いと思われます。順調であっても災害など発生したら生産量も落ち生産出来なかつたりすることも予想されます。いつまでも活力が続けられるとは限りません。良い状態のときのこ蓄える対策も必要だと思います。活気があるということは老いも若きも働きやすい住みやすいまちがあるということで少子高齢化どうにかしたいですね。

●牛押しはもうどこもやっているの他の食を考える時期だと思う。牛は毎日食べない、買わない。

●ブランド力が上がると価格も上がる傾向あり、住民自体が利用少なく手が届きにくくなる心配。特に白老牛、海産物

●白老牛等地域ブランド等は地元住民には格安で提供し、観光客にはふさわしい高値で販売する。それだけでも白老に住む魅力は高まり、活性化に向かうと考える。

●白老牛を道内ではなく、道外にもPRしてほしい。

●白老の食材がそろってお店とそれを食べる事のできる所があるといいと思います。

●白老ブランドを安くしてほしい。白老は物が高い。

●現実的に高いブランド品にこだわらず。安いオーギービーフで十分である。

●ひとつひとつのブランドは素晴らしくなりましたと思います。これらをまとめて発信する、売り込む、広げる力が不足していると思います。海外にも出せるものだと思うので、量・種類をまとめるには、やはり生産者の結束が必要。

●美味しく新鮮な食品がたくさんあるので、もう少しCOOPなどにどんどん出して、ブランド力アップさせて地域起こしをしてほしいと思う。

●6次産業化への具現化

- 食材に関しては価格が高い様に感じます。
- 独自の販売ルートを確立し、町として推進すべきではないか！
- 例えば白老牛はブランドで売っているかもしれないが、はっきり言って高い。安い方を買う。
- 白老町の食材は高額なものが多く地元の人には利用しないことが多い。
- ブランド化は大変に良い事。しかし、タラコのことにより年金生活者や所得の少ないものにとって手が届きづらくなってはさびしいです。
- 町民が口にするには高値のような気がする。
- 「バーガーベグル」から違うものに変えてみてはどうでしょう？ 300～400円で買ってすぐ食べられるもの。150～200円なら、さらに売れますよ。
- 町内の名産品を誇大に宣伝するのは良いが、名におごらず、高い品質を目指すべきだと思う。
- 牛肉は高く買うことは出来ません。タラコ、鶏肉は時々買いますが牛肉がもう少し安ければ食べたいです。外国産しか食べられないので地元のひとに食べやすく提供してください。年に一度でもいいのですけど。
- 白老は肉や魚があるが野菜がない。田畑があればいいと思う。景観もよくなる。
- 温泉を利用したマンゴーなど（果物）の栽培は？すでに釧路ではチャレンジしていると聞いています。
- 白老牛は有名ブランドだが高すぎて手がでないと町外の人から言われたことがある。
- 白老町は『食材王国』ではないと思う。このフレーズで自己満足していて他の地域を見ていないことの証拠だと思う。
- 地域ブランドの高価格商品は当たり前だが、安くて、旨くて、誰もが喜んでもらえる商品の開発、センター（技術者）の充実を図ることや歴史的背景をもたせる商品の開発が必要
- 私は、色々な場所で白老牛、虎杖浜たらこ、鶏卵やしいたけをアピールしている。アピールが大事。
- お土産に持ち帰りやすい白老町の食材を使ったお菓子ブランドがあってもいいと思う。
- 食材王国をうたっているわりに地元のものを買う場所や食べられる店が少なすぎる。
- 美味しい食材を入手する手段が限られていると感じる。もっと身近な所で近隣の市町村等にも常時置かれているといい。
- 食材王国を目指して、観光客を増やすこと。

<道の駅等物販施設に関する事>

- 道の駅中心とし温泉・自然（海・山・クッタラ湖）。PRするものがない。
- 道の駅早急に建設を
- 白老にはたくさんの地域ブランドがあるのに、それをいかしていないと思う。道の駅を駅の裏側に作り、道の駅に来たから、民族共生の空間に行ってみるか？民族共生の象徴となる空間に来たから、道の駅にも寄ってみるかと思わせる。人の来る所に、人の集まる場所を作る。白老発展のために、役場の方々には頭をひねって色々な考えをしてほしいと思います。白老の食をいかしてほしい。
- 道の駅を希望します。
- 道の駅を作れたらもっと多くの人々が来るようになるのではと思いますが
- 他地域より白老町内へ人を呼び込む努力が少ない。各個人での販売が主となっている。もっと全体で全食材をPRすべきである。例：道の駅、朝市
- 白老町の魅力を発信できる足を運ばせる事ができるたくさんいい素材があるものを活かせる道の駅を早期に造る計画をすべきだと思う。
- 特産品をまとめて一箇所で買う場所がない
- ぜひ白老町に道の駅を作るべきだと思います。子どもも遊べる公園が一緒ならお人が集まると思います。

<雇用に関する事>

- 若い人でも働く場所が無いのに、年寄りに合う仕事なんか無いけど、グランマのように70、80になっても働く場所さえあれば、元気な年寄りには沢山いるので何かアイディアがあれば動き出すと思う。白老の産業にも寄与するでしょう。

●雇用の拡大に何をしようとしているのか。具体的に何をしていますか？住んでいる人たちが白老のことを魅力的だと思っていないと観光客にも伝わらないと思う。すばらしい町だということをもっと町民があらためて知ることが必要だと思う。

●若い人達の働く場所があれば町も活性化するのでは。

●働きたいけど働く所がない今の仕事、冬道が怖いので違う仕事に変わりたいが働く場所が無い。

<港湾に関すること>

●白老港の活用—全ての分野に

●港湾事業は必要なのか？経費が多い。

<企業誘致・商工業に関すること>

●発電産業などに土地を貸したら返してもらおうに大変だと思う。土地の利用には十分将来を考えた上で利用させるべき。誘致企業はどこでもいいと考えず町の土地利用をキチンと考えてすべき。

●企業—今の町議たちはそもそも中央とのつながりのある人は居るのでしょうか？昔の町議は町のために企業を誘致して今の町が成り立っている事を知っているの？一つ一つと企業がなくなり……。今ある企業も一生懸命努力しているのに町議はそのために何をしているの。無くなってからでは遅いですよね。子どもたちが白老で家族を持ってずーっと住める街を望みます。

●地元の産業を生かすことが大事。補助金のバラまきは疑問が残る。

●企業誘致にもっと注力するべき

●駅の北側に大浦木工場があるが、広大な面積で町の中心部となるべき位置に木工場があるなど信じられない。町を発展させ、都市化させビル化、商店街の建築が町の求められる事と思います。あれでは村の集落と同じ。木工場は広い山の方に築けば良いと思う。

●太陽光で町全域をまかなう町づくりなど自然エネルギー自給自足の町として売り出せばよい。

●白老の駅前ばかりでなく、萩野～虎杖浜に商業施設を増やすべきだと思う。(コープがつぶれてからすごく不便)

●とにかく安定した企業の誘致が重要。

●若者がもっと興味の持ちやすい店舗や施設がほしい。

<観光に関すること>

●今となってはポロト観光を成功させなければ！2月小樽駅前の恐ろしいほどの外国人観光客を見て、なぜこの1/10でいいから白老駅に来てくれないのかとガクゼンとしました。2020年、本当に白老にもあの様な観光のお客様が来てくださるのでしょくか…。白老町に自信はあるのですか？失敗する姿しか目に浮かびません。この事業が成功すれば、海の幸・山の幸、白老の食材が世界に知られて、若者の職場も増えて町は発展するのでしょうか、福祉・教育の分野にもつながっていくと思います。失敗しないでください。

●白老町内に宿泊温泉が少なすぎる(竹浦・虎杖浜まで行かないとならない)宿泊温泉付きの道の駅を作るとか、旧厚生年金施設も何か利用できる方法を考えた方が良いと思います。白老町内に日帰り温泉を作る(ポロト温泉がなくなり不便)※丸一日のんびり、ゆっくりできるスバが理想。白老町は馬も有名なので乗馬体験や、馬とふれあえる場所があるといい。

●「白老牛」でかなり道内の観光客を引っ張ってこられているとは思いますが、ただそれしかないのも、せっかく観光に来て他に行くところがないのももったいないと思います。アイヌ博物館は現時点で何回も行きたいと思う方は少ないだろうし、タラコを買いに行っても外国産しか売っていない。卵も特段おいしいとは感じませんし、しいたけはどこで買えばいいのかわかりません。

●観光客の誘致やいきいき46のところにあるホテルはどうするのでしょうか。

●最近、白老町中心部は街並みもきれいになってお店も変わってきたなと少しは感じますがパッと目につくのは卵を基本としたスイーツ類ばかりに感じます。白老町は縦長で虎杖浜から見ると同町と思えないほどに温度差を感じます。もう少し海を基本としたテーマもあると良いかと思っています。

●札幌方面から来る方々なら、ドライブで道の駅を利用したいと思います(白老町の肉、魚、野菜、卵など…すぐ買える)。道の駅もキャンピングカーとかが利用できるようにして、国立アイヌ民族博物館をみて、

今は使えませんがポロト温泉を利用し、町内での買い物を楽しんでもらう。そんな風に利用していただくと良いですね。

- クッタラ湖を観光資源として再生できないか。
- 温泉が白老町のメイン。温泉をアピールできる環境なので、世界に発信することだと思います。
- 竹浦・虎杖浜と良い温泉があるので、少し駐車場を整備してほしい。
- マスコットキャラクターで PR し、観光客の認知度を高める。登別温泉より虎杖浜温泉の方が泉質も良く好きだが、客足が減り、閉まった所が増えたので寂しい。

<水産業に関すること>

- 農業には力を入れているが、水産業にはイマイチ。もっと、色々な材料のブランド化が必要と思う。
- 白老牛ばかり宣伝するのではなく、漁業をもっと宣伝してほしい

<イベントに関すること>

- 白老港祭りで行う、花火5000発の継続実施をお願いします。
- 白老牛肉祭りをやっているが、主体はどこですか？町として行うのであれば、町内生産、加工物品を同時販売などしては！町行政としての取り組みを切に願う！
- 今年の港まつりの花火は5000発ということですが、いつもよりお客さんが多かったと思いますが、花火のクオリティは最低だったとおもいます。期待をうらぎるのが上手な町というか今回のことでも、予想はできたというかこれが白老町だよなと町民は思っていると思います。もっといきいきと開けた町になっていけば嬉しいと思っています。
- 港祭りの花火大会での5千発は本当なのか？嘘は良くないと思います。町の信用に関わります。

<全般>

- 一般町民に対して、十勝ワインまつりのように年に何度か PR を兼ねたイベントを開催し活力を養うとよい。白老の自慢できることを大いに PR するとともに、膨大な資金をつぎ込んだ白老港を大いに活かすことと、白老の自慢できることを単なる点と点で終わらせるのではなく、互いに線と線で結びつけながら町の活性化を図っていくことが大切であると考えます。ダラダラと時間ばかりかけるのではなく、早く思い切った活性化に向けた取り組みが必要である。ダラダラでは、尻貧である。
- 発信のしかたに疑問がある
- 一部の人が恩恵を受けているような気がする

【自治】分野に関する自由意見

<協働のまちづくりに関すること>

- これからはスイスやデンマークなどの福祉国家のように、中央集権から地域主権になるので町内会の結束を努めたい！
- 町内会が一部の役員（古くからいる）の私物化という問題を抱えていると耳にしたことがあります。移住者が疎外感を感じることをないよう、クリーンで協力しやすい町になればと思います。
- 白老は自然に恵まれ空港にも近いのですから、やり方でもっと発展すると思います。商店の人達がもう少し町の発展を考えてくださるといいと思います。
- 町内会の体質がおかしい。小さな町に多すぎるし、体制ができていない。
- 町内会活動について高齢化により役員の人材不足、統合の検討を急ぐべき
- 隣近所同士の挨拶・交流がない。顔も見たことがない、話もした事がない人が多い。
- 町内会の存続は難しいと思う（高齢化のため）。何か方法がないか。
- 町内放送が聞きづらい。はっきりとゆっくりと大きい声で放送してほしい。
- 多世代が交流できる場所を作るべき。

<行財政運営に関すること>

- 白老町を一つの会社として考えるなら、専門家（経営コンサルタント）などに町の建て直しなどのアドバイスをしてもらうのはどうでしょう。
- 町組織について一部長制度の復活で庁舎内の意識が変わる！
- 私の見知る限り、行政の職員も一町民であることの意識がなさすぎる。
- 私自身も高齢者に近くなってきているが、若い人たちの方に行政サービスを厚くした方がよいのでは。高齢者は平均的に甘えすぎている。
- 全体的な事は難しさを感じます。どこかの絞った方が答えやすいですし行政が全部動けるとか実施出来るとは限りません。
- 役場の環境は大変良いと思う。バランスシートは？
- 海外から来る観光客に対して、日本のルールを教えた上で来てほしい。町のみんが窮屈になるのは望んでいない。役場の受付の人の私語は好ましくない。道内から人材を雇ってほしい。
- 人口流出を防ぐ行政
- 観光に関しては十分に評価出来ますが、高齢化が進む中若者が魅力を持てる町づくりを強く推進してほしい。
- 白老駅付近の事ばかりで。白老は広いです、竹浦と虎杖浜の事も考えて下さい。
- 本町に一局集中して他地域の閉塞感がする
- 全町で住民減が更に進んで行きます。若人が働ける環境を行政主導で進めてください。町内会に頼る行政を少なくし、町議の活動を活発にして町づくりを進めて欲しい（町内会員の減・高齢化が進んできている）
- この地に住んで3年目。近所の方々、そして白老町を知る為、身近なところからゆっくり始めている為、行政目線までのことまでは、正直わからないです。
- 町立病院も循環バスも外部のコンサルタントに丸投げしないで、ここに暮らす人たちが真剣に「考える」ことが必要だと思う。
- 町のコンパクトには重要、道線が横に長いためまとまり感がない。廃屋を早く処分しないと観光面からみて景観が汚い。シャッター通りなんとかしないと、民族博物館どころでない。JR少ない駅汚いどこにお金使っているのか？防犯は駐在所、消防は港。普通は町内。何が安全？
- 人材活用の面で遅れている。うもれた人材を発掘して活用すること。（役場職員、議員、閉鎖的、縁故的。）
- （施策）目標はよいが、現在どのようになっているのか。今が分からない。
- 役場の方は庁舎から出ず、学校の先生は地域に顔を出さず、教育委員会はパソコン画面から離れずでは、誰も参画しないこととなります。いくら企画がすばらしいものであってもです。熱意を今以上に持っていて、個性的に動き回って、年寄り、若者を導いてくれる人がほしいですね。

<広報広聴に関すること>

- 町報で事件・事故・お知らせが有ると良いと思います。良い事・悪い事、子ども達のためにも優しさをお手本にしたいです。伝えて行く事とても大切だと思います。生きているすばらしさ！！人生は長い様で短いです。スピード時代もう少し国へ声を上げて良いのでは！？
- 町内会に入っていない世帯にも町広報を配布すること。また、町内会経由を廃止し新聞折り込みにする。
- すべてに書きましたが町民の7割は広報誌で町の情報を得ていると思います。広報誌のレベルアップなどで情報提供。今回のようなアンケートで町民の意見を集約することには大賛成です。町に対する改善要望記入欄などあればよかったかもです。
- 広報誌での詳細情報よろしく願います
- 町民は広報でしか知り得ないことが多いです。広報誌の充実願います。
- 広報誌での情報を詳細にレベルアップ
- 地域に何があるのかわかりづらい。白老町全体ではなく（白老・社台・萩野など）それぞれの情報をまとめないといけないと思う。
- 町の情報は広報誌などでしか知る事ができません。広報での情報伝達充実していただければ十分です。

<全般>

●どの年代も安心できる街づくりができていない。人口流出が多すぎるので、自慢できる部分はなさすぎる。一人暮らしできない。

※全般に関する自由意見

<このアンケートに関すること>

- 私は、このような調査に何故にしょっちゅう選ばれるのか疑問です。そのうえ見返りが何もない。もう無記名でなくバイトにしてほしいくらいです。
- このアンケート、難しくてよく分かりません。何で私を選んだのか、参考にならないと思います。
- 勝手な事ばかり言いました。申し訳ありません。このアンケートに関わる皆様に心からご苦労様とありがとうございましたを申し上げます。白老町が永遠に輝いていけるよう願っています。
- アンケートのボリュームが大きい、もう少し中身を吟味してほしい。
- このように平面的なアンケート調査をどのようにまとめ、活用するか疑問です。
- アンケート量が多すぎ
- 問が多すぎ。文字が多いので読むのが大変。白老に長く住んでいない自分にはわからない、関係の無い問が多くて困ります。
- 高齢者なのであまり内容が良く分かりませんでした。失礼します。
- 全体の調査内容が多いと感じます。各分野に分かれて深くやることも必要ではないでしょうか。
- 細かすぎるアンケートだと、なかなか答える気になれないし、分かりにくすぎる。このアンケートが町づくりに反映されているとは思えません！無駄な経費を使っているのではないのでしょうか。
- 調査票が見づらい、分かりづらい。
- 本当に良いアンケートでした。私のこれからの生き方の目標になりました。

<その他町民から寄せられた意見>

- 意見は大して無いのですが、「無い」のは只関心が無いからか又は、関心が持てないからなのか不明です。
- 白老の大企業が役場という変な町です。
- 町職員いない。
- ガソリン代
- 若者に魅力ある航空大学の様な環境作り
- 現在、運転できて買い物に不自由していないが、そのうち運転できなくなった時、どうするか？と不安を感じている。
- 若い人が沢山住みやすくし、そこから子供を通していろいろなことに参加しながら、白老町の良い所を広げていけたらいいと思います。
- 白老の町を見学しようと思ってもらえる特徴のある町。四季を通して美しい街並みの町。
- 以前は虎杖浜にも安いプール施設があったが無くなったので大変不便

<町民からの提案関係・感想・ジャンルをまたぐもの>

- 太陽光パネルをあれだけ設置しているのだから町全体を太陽光エネルギーでまかなえるような町づくりをすると自然派の人たちの移住先として選んでもらえるのでは？全面的に力を入れて取組んで良い分野では？
- 白老駅の裏側にポロト公園がある点について、観光客側としては、山側に降りてポロト公園へ行くほうが便利。町側としては海側に降りて大町商店街(屋根のない美術館など)を楽しんでほしい。駅舎にエレベーターを設置すべきだと思うがJRとの兼ね合いは困難なのか？
- こんだけ素敵な自然がたくさんある街なのに、それを生かしたものが何もない。クッタラ湖は水質で全国に誇れるものを持っているのに、クッタラ湖の水を売ってるところはないし、湧き水も飲んでいいものなのかどうか不安。せっかくハイキング等に行ってもトイレは使用できないし、水のキレイさもあまり実感できない環境にあると思う(ボートに乗れば体験できると思う)。ポロトのモール泉も入浴できなくなり、

高級温泉に生まれ変わる予定らしいが、大衆温泉との併用営業はできなかったのか疑問。自然を感じようとポロトの森に入っても熊がいるみたいだ。

●産業施設の親しまれる港作りにも関連して、白老には売りになる物が少ないと町民が言うのですが、近隣市町村には無い、海岸、川辺、山を売ってはいかがですか。海に流れ込む、長い白老川や他の川の流域を大切に。昔、幼い頃、川尻と呼んで水遊びをしました。

●白老町の運動でき比較的新しい施設を含め老朽化している施設の建て替え一部のリフォーム例えば水洗トイレを様式にするとか施設の安全性を考えるとどうなのでしょう。節電は大事ですが手洗いの場所で清潔を保つ電動の手ふきが使えなくて、掃除用具もモップがいつまでも汚れたままの状態とか、財政難なので替えられない理由で済ませていいものか？寄付してくれる方もいると思うので呼びかけをお願いしてもいいのでは？スポンサーになってもらえる企業があるのではと勝手に思います。2020年白老から世界へアイヌ文化を発信するのですから。

●ポロト湖の温泉を復活させ、熱いお湯とぬるいお湯の湯船2つと、洗い場と脱衣場を広くして、高齢者が運動できる温水プールを作ってください（再度お願いします）。

●昨年、初めて秋祭りを見に行きました。よさこいソーランの踊り手達が、全道から来て戴いてとても素晴らしかったです。ところがコミセンも体育館も、役場本庁舎も完全閉鎖。参加者や観客はトイレに困る始末。男はしらず、若女性の踊り子は大変だったでしょう。他の市町村から折角お越しいただいているのに町当局、観光・商工会議所には「おもてなし」の精神が欠如しているとしか思えません。

●JRの増便を進めて人を呼ぶ作戦が必要である。生活関連企業が進出してくることにより税金も増える。（住宅が建設され、民税、資産税の増が望める。）

●2020年の国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園の誕生は、近年にない観光振興のベストチャンスです。そのためには、幹線道路（国道36号線）の苫小牧から室蘭までの完全2車線化と自転車道を設ける。さらには、国道から見える廃墟と化した建（白老町が特に多くて美しくない）物を全て撤去することが必須です。美しい牧場、水鳥が来る海辺、オーシャンブルーをPRできるように。

●萩野児童館の活用、児童が少ない今日、老人たちが自由に使用できる様にすべきです。人の教育に力を。病院を診療所にする話があるが、診療所になったら白老町もさびれて行くのみ、若者は入居しない。

●町外よりも、むしろ町内に向けて、もっと白老の良さをアピールした方がいいような気がします。（観光地としてよりも、住むところとして素晴らしいと思う。）

●白老（日本）の行く末を見透かす「目」を強化し情熱をもって「知恵」をしぼればこのマチの活性化は実現する。

<接遇・問い合わせ対応に関する事>

●もう20年以上も前になりますが、白老に引っ越してきて右も左も分からないときに、役場の方の親切な態度、やさしい言葉使いに、すっかり不安が消えた事を昨日の様に憶えています。役場は白老町の玄関なのでですね。今も皆様の頑張りに感謝しております。

●町職員の方たちの対応が以前と比べてとても良くなってうれしく思います。

●相談できる場での専門性が低い。

<行政へのメッセージ>

●自治の皆さん頑張って下さい。ご苦労様です。自慢できる役場でいたい。ありがとうございます。

●新規参入ももちろん必要ですが、その前に既存の産物を是非フル活用してください。人材も、モノも。町民に頼って下さい。

●職員の皆さんは一生けん命働いておられると思っています。これからもよろしくお願いします。

●高齢者の知恵と知識をもっと活用してほしい。

<総括意見>

●大変な宿題を頂きました。改めて考える時間を頂きました。

●洞察力、決断力を養う事。

●感謝！